

すずむし

No.143

Mar, 2008

倉敷昆虫同好会

岡山県のアシプトゾウムシ亜族の記録

瀬島翔馬*

アシプトゾウムシ亜族 *Ochyromerina* は、ゾウムシ科 *Curculionidae* ゾウムシ亜科 *Curculioninae* コガタゾウムシ族 *Tychiini* に属し、多くの種で前脚腿節が肥大しそこに顕著な歯をもつ特徴的なゾウムシである。保育社の原色日本甲虫図鑑には5種しか記載されていない(森本, 1984)が、1995年から1998年にかけてこの亜族がまとめられた際に多くの種が記載され(KOJIMA and MORIMOTO, 1995; 1996a; 1996b; KOJIMA, MORIMOTO and HORIKAWA, 1998)、現在8属24種が日本から記録されている(KOJIMA and MORIMOTO, 2004)。

本亜族の種は寄主植物に対する特異性が強く、また樹冠部を生活空間としているものが多い。そのため狙わないと採集は困難である。岡山県における本亜族の種の記録は、これまでアシプトゾウムシ *Endaeus nipponicus* Voss et CHUJO, 1960, ホソアシプトゾウムシ *Nipponochyromera gracilipes* KOJIMA et MORIMOTO, 1996 の2種の記録しかなかった(岡山県, 2003)が、筆者はこれ以外の4種のアシプトゾウムシ亜族の種を岡山県から確認しているので報告する。

報告に先立ち、本報を校閲してくださった愛媛大学の酒井雅博博士、原稿作成段階でアドバイスをいただいた倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士、たびたび採集に同行して下さり、いつもご教示をいただいている岡山市の山地治氏、岡山市の藤谷美文氏、倉敷市の渡辺昭彦氏、岡山市の中野一成氏、採集に同行していただいた父の公彦、採集品を譲ってくれた弟の裕馬に厚くお礼申し上げる。また、トネリコアシプトゾウムシの発表を快諾された山地治氏に重ねてお礼申し上げます。

* 〒790-0863 愛媛県松山市此花町6-20
フラワーコーポ此ノ花510

1. ウスグロアシプトゾウムシ

Morimotozo obscurus (ROELOFS, 1875)

1ex., 苫田郡鏡野町土居, 12.IV.2004, 瀬島裕馬採集・筆者保管。

クリの伐採枝にとまっていたものである。

1ex., 苫田郡鏡野町土居, 20.IV.2004, 瀬島裕馬採集・筆者保管。

雑木林のピーティングで採集された。

2exs., 苫田郡鏡野町土居, 21.IV.2004, 瀬島裕馬採集・筆者保管。

スルデの伐採木の休眠芽に2頭同時にとまっていたものである。

1ex., 苫田郡鏡野町土居, 29.IV.2004, 瀬島裕馬採集・筆者保管。

ヤマウルシの伐採木の新芽にとまっていたものである。

1ex., 苫田郡鏡野町山乗山, 12.VI.2006, 筆者採集・保管

ブナ帯の林縁のスウィーピングで採集した。

岡山県初記録と思われる。本種は、春に低山地から山地にかけて広く散発的に採集される。採集状況からウルシ科 *Anacardiaceae* のスルデ属 *Rhus* やウルシ属 *Toxicodendron* を寄主植物としているのではないかと考えているが、いまだ確認を得ることができていない。体色は暗褐色で触角柄節は褐色。前腿節は肥大せず微小な歯をもつ(KOJIMA and MORIMOTO, 1995)。

2. ホリカワアシプトゾウムシ

Ochyromera horikawai KOJIMA et MORIMOTO, 1996

4exs., 英田郡西粟倉村ダルガ峰, 16.VIII.2006, 筆者採集・保管(写真1)。

ナツツバキの葉を拘って採集した。

1ex., 真庭市藤山下徳山, 15.VIII.2006, 筆者採集・

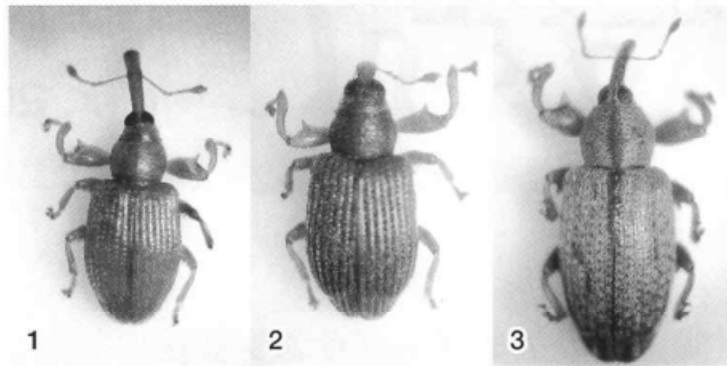


写真1. ホリカワアシプトゾウムシ, 写真2. ニッポンアシプトゾウムシ, 写真3. トネリコアシプトゾウムシ

保管.

ブナ・ミズナラ林の林縁のスウィーピングで採集した。

岡山県初記録と思われる。アシプトゾウムシの中では比較的容易に採集することができる種で、ダルガ峰ではナツツバキから採集できた。同属のヒメシヤラからの採集例が知られている (KOJIMA and MORIMOTO, 1998)。体色は、黄色がかった褐色で、上翅会合線に沿って小楯板から翅端に向かう褐色条をもつ (KOJIMA and MORIMOTO, 1996a)。

3. ニッポンアシプトゾウムシ

Ochyromera nipponica KOJIMA et MORIMOTO, 1996 1ex., 英田郡西栗倉村ダルガ峰, 16.VIII.2006, 筆者採集・保管 (写真2)。

ナツツバキの葉を掬っていたところ上記のホリカワアシプトゾウムシに混じって1頭だけ採集できた。

岡山県初記録と思われる。体色は赤色がかった褐色で、斑紋をもたない (KOJIMA and MORIMOTO, 1996a)。

4. トネリコアシプトゾウムシ

Ochyromera suturalis KOJIMA et MORIMOTO, 1996 1ex., 高梁市金平国有林, 20.V.2007, 山地治採集・保管。

ビーティングで採集された。なお、標本は写真で検した。

1ex., 真庭市蒜山下徳山, 7.VII.2007, 筆者採集・保管 (写真3)。

ヤマトアオダモ *Fraxinus longicuspis* SIEBOLD et ZUCC.の葉を掬って採集した。

岡山県初記録と思われる。成虫が *Fraxinus lanuginosa* KOIDZ.の種子から羽化した記録があり (KOJIMA and MORIMOTO, 1996a), トネリコ属のスウィーピングで採集されるほか、しばしば灯火で採集される

(KOJIMA and MORIMOTO, 1996a)。特徴的な褐色がかった斑紋をもつ (KOJIMA and MORIMOTO, 1996a)。

以上、岡山県から文献記録を含め4属6種のアシプトゾウムシを記録できた。しかし、本亜族の県内における調査は極めて不十分である。今後の調査によって、さらに多くの種が岡山県から記録できると思われる。

参考文献

- 森本 桂, 1984. ゾウムシ科 Curculionidae. 原色日本甲虫図鑑 (IV), pp.269-345. 保育社, 大阪.
- KOJIMA, H. and MORIMOTO, K., 1995. The tribe Ochyromerini (Coleoptera, Curculionidae) of Japan I. Genera with six segments in the funicle. *Jpn. J. Ent.*, 63 (3) : 557-571.
- KOJIMA, H. and MORIMOTO, K., 1996a. The tribe Ochyromerini (Coleoptera, Curculionidae) of Japan II. Genus *Ochyromera* PASCOE. *Jpn. J. Ent.*, 64 (3) : 570-586.
- KOJIMA, H. and MORIMOTO, K., 1996b. The tribe Ochyromerini (Coleoptera, Curculionidae) of Japan III. Genera with seven segments in the funicle and key to genera. *Jpn. J. Ent.*, 64 (4) : 733-743.
- KOJIMA, H., MORIMOTO, K. and HORIKAWA, M., 1998. Two new species of the genus *Ochyromera* (Coleoptera: Curculionidae) from Japan. *ESAKIA*, (38) : 113-122.
- KOJIMA, H. and MORIMOTO, K., 2004. An online checklist and database of the Japanese weevils. The Kyushu University Museum, (2) : 33-147.
- 岡山県編, 2003. 岡山県野生生物目録. 397pp. 岡山県.

岡山市旭川礫河原の小調査報告

—カワラバッタねらいがルリナガツツハムシの発見に—

青野孝昭*

1. はじめに

カワラバッタは、岡山県版レッドデータブックの絶滅危惧種。これまで高梁川中流域の1箇所でのみ生息が確認され、著者も現地の環境と生息状況は見えていたが、ごく最近の観察では生息が見られないとの情報と、旭川では近年、下流域でカワラバッタが採集されているとの情報を近藤光宏氏からいただき、当のご本人、澤田博仁氏からも採集当時の現地の環境状態についてお話をうかがった。

一方、国土交通省岡山河川事務所からは旭川下流部における近年の治水事業、河道管理、流域開発等で過去20~30年で河相が大きく変化、このため、かつて、旭川下流部において多く存在した礫河原が激減し、河道内が樹林化していること、それに対して、岡山市の大原橋下流付近において、河川環境の保全や創造に向けた取り組みの一つとして、旭川の自立的回復を目指した礫河原再生の現地試験及びモニタリングを行い、得られた結果を生かし、礫河原再生事業を維持していく方針であることを知らされた。

礫河原再生の具体的施工として昭和17年3月には、旭川右岸の河原において①樹木の伐開除根、②砂州の最大で約2m切り下げが実施されている。

実施後2年目の現状はいかがなものか、特に旭川下流部からカワラバッタが近年採集されているとの情報に鑑み、礫河原を好むカワラバッタが出現しているかどうか、大きな期待を持ち、岡山県野生生物調査検討会現地調査の一環として現地へ赴いてみることにした。

結果的に、カワラバッタの生息は確認できなかったが、折角、現地入りし、若干の知見が得られたので、所期の目的は達成されなかったが、簡単ながら報告しておきたい。

2. 調査日と調査場所の概要

調査日は2007年10月7日。快晴の陽射しが暑い日であった。

調査地は岡山市玉柏にある旭川右岸沿いの玉柏自動

車練習場最下手の草地から岸辺に下り、そこから5m幅ほどの浅瀬を、ズボンを捲り素足で渡った先に広がる中州である。行政区画上は中州の右岸寄りには岡山市玉柏に属しているが、中州の途中から東は岡山市祇園に属している。砂州を最大で2mほど切り下げた部分はほとんどが祇園に属しており、表層はほぼ10~20cm大の丸礫で覆われていた。2006年7月の大きな出水に洗われた跡が礫上に粘土質の皮膜として残されている部分も少なくなかった。景観の一部を写真で示しておくが、帰化植物のノゲイトウやマメアサガオなどが部分的に見られ、更地にいち早い進出を見せていた。ところどころにはヤナギ一種が残存していた。

右岸寄りの、切り下げしていない盛り上がった場所には灌木や草本群落が残されており、切り下げられた部分との境には砂層の断面が見えていた。



河原に進出していたノゲイトウ

3. 現地調査結果

第一目標であったカワラバッタの確認については、目をこらして探査してみたものの、1個体の目撃もできなかった。

そこで、それ以外の種について目撃、あるいは採集確認した種について取り上げてみる。

清らかな湧水の流れる浅瀬(クリーク)を渡る際、目に止まったのは流れ沿いに飛翔していた複数のハグロトンボであった。浅瀬を渡った直後の中州は切り下げが施されていない場所で、砂地に植生が認められ、セイヨウミツバチが秋の花に飛来していた。砂層を切り取った境界付近では礫の下や砂の中から若干の甲虫類を採取、その後、広い礫河原に出てからは、ほとんど虫影の認められない中、トノサマバッタが出現しているのがわずかに確認され、その他、モンキチョウ、モンシロチョウの姿が目にとまり、水溜まりで

* 〒710-0817 倉敷市大内937-8

はシオカラトンボが縄張りをはっていた。礫河原の本流側水際には礫をめぐって見たが、何も発見できず、あまり高くはないヤナギの木陰のやや湿った礫の下からはわずかにオオハサミムシを見いだした。それ以後は、切り下げの行われていない場所に戻り小灌木や草むらをスウィープして若干の昆虫を採集した。その中には日本では珍しいとされているルリナガツツハムシが含まれていた。



トノサマバッタ

4. 考察

カワラバッタの生息の可能性について少し考えてみた。

高梁川の生息地は中流域にあり、礫河原は本調査地よりはるかに狭かったが、礫の大きさは、ぐっと大きく角張った礫とそれより小さい丸礫が混在し、隣接して次第に傾斜して高くなる砂地があり、そこにはイネ科植物をはじめとした草本類が生え、カワラバッタ成虫が好む礫地と産卵地としての砂地、それに、幼虫成虫とも動物食の傾向がある(日本直翅学会,2006)としても、食物資源が育つであろう草地があり、大量出水時の避難場所となる大型角礫や高水敷の存在と、好条件が揃っていたと考えられる。

旭川下流部についての国土交通省岡山河川事務所の情報では、昭和20年代初頭には河川が平野部に出た直後から感潮区間上流端までの区間全域が礫河原であったものが、2001年では洪水流が砂州を横切る場所の一部でのみ確認できる状況になっているとのことであり、カワラバッタ生息環境としての好条件は揃っていないと考えられた。

この度、調査地に選んだ砂州の切り下げ地は、広い面積にわたって丸礫が表層を覆っていて、砂地の露出は見られず、植生については、施工後2年でいち早く進出した外来種や、根が残りに、萌芽再生したと考えられるヤナギ類などが少数点在していた程度で、見事なオープンランドの出現は実現していたが、適度な植生の発達には今一步との感がした。また、切り下げ地は2006年7月の大量出水の折には流水に洗われたとのことで、もし、カワラバッタがいたとしても、幼虫

の段階の個体は非冠水帯へ避難できない限り、生き残りは難しかったであろうと考えられた。

一方、澤田博仁氏にうかがった話によると、カワラバッタの採集地は本調査地よりやや下流部の左岸で、自然地形の残された水辺に近い、草本類の多く生えた場所で、必ずしも広い面積にわたる礫河原のある環境ではなかったとの印象をお受けした。

この事実は、礫河原の面積は小さくても、ある程度のオープンランドがあり、ほどほどの草本植生と非冠水帯がある場所では、カワラバッタが生き延びている可能性を残しているのではないかと期待を持たせる。

本調査地の周辺には、広い面積にわたって非冠水帯も存在する。ただ、河川敷の樹林化によるオープンランド狭隘化によるカワラバッタ生息環境劣化の影響度合いが未知数であるのと、現地調査当日、玉柏自動車練習場周辺のオープンランドに生じた草地には多数のトノサマバッタが生息していて、カワラバッタが駆逐された可能性が示唆され、カワラバッタ生き残りの可能性については、悲観的な実態が多いことも否めない。

しかし、国土交通省岡山河川事務所による礫河原再生への取り組みは、カワラバッタの生息環境補強改善の立場から見ても大いに歓迎されるべき事業であり、もし、礫河原再生事業以前にわずかでもこの地域にカワラバッタが生き延びていたとするなら、今後の事業の進め方次第で、生息個体の確認と生息数増加の可能性に期待が持てる。調査当日は切り下げ地を中心にした調査に留まっており、下手に広がる樹木伐採進行地や上流部に広がる河原草地の生育再生地は未調査のまま終わっている。カワラバッタの生息調査は今後も継続する価値が十分にあると考えられる。

5. 当日の生息確認昆虫目録

本目録は当日採取、目撃した昆虫の内、著者が同定することのできた種について編成している。目撃確認した種には目撃と明記、明記してない種はすべて採取を意味し、確認場所は玉柏側と祇園側に分けて記しておいた。

ODONATAトンボ目

Calopteryx atrata SELYS ハグロトンボ

3exs.目撃、玉柏。

Orthetrum albistylum speciosum (UHLER)

シオカラトンボ

1♂目撃、祇園。

ORTHOPTERAバッタ目

Locusta migratoria (LINNAEUS) トノサマバッタ

1♂ (緑色型) 目撃, 1♀ (褐色型), いずれも祇園。
Oecanthus longicauda MATSUMURA カンタン

1♂, スウィーピングにて, 腹部は黒くない, 全体淡緑色, 玉柏。

日本直翅類学会, 2006によると真のカンタンとは別種かも知れない。

DERMAPTERAハサミムシ目

Labidura riparia japonica (de HAAN) オオハサミムシ
2♀, 礫の下より, 祇園。

HEMIPTERAカメムシ目

Graptostethus servus (FABRICIUS)
ヒメマダラナガカメムシ

1ex., スウィーピングにて, 玉柏。

Tropidothorax belogolowi (JAKOVLEV)
ヒメジュウジナガカメムシ

1ex., スウィーピングにて, 玉柏。

COLEOPTERAコウチュウ目

Amara gigantea (MOTSCHULSKY) オオマルガタゴミムシ
1死骸, 玉柏。

Apristus grandis ANDREWES スジミズアトキリゴミムシ
3exs., 玉柏, 乾燥した砂地の礫の下。

Paracardiophorus pullatus (CANDEZE) コハナコメツキ
2exs., 玉柏, 礫の下。

Coccinella septempunctata LINNAEUS ナナホシテントウ
1翅鞘, 玉柏。

Coccinula crotchii (LEWIS) マクガタテントウ
2exs., 草地のスウィーピングにて, 玉柏。

Gonocephalum coriaceum MOTSCHULSKY
コスナゴミムシダマシ

3exs., 玉柏, 乾燥した砂地の礫の下。

Chrysolina aurichalcea (MANNERHEIM) ヨモギハムシ
1翅鞘, 玉柏。

Plagiodera versicolora (LAICHARTING) ヤナギルリハムシ
2exs., ヤナギの葉のスウィーピングにて, 玉柏。

Smaragdina mandzhura (JACOBSON) ルリナガツツハムシ
1死骸, 河原ブッシュのスウィーピングにて, 玉柏。



ルリナガツツハムシ

本種は木元・滝沢, 1994によると中国大陸に分布す

る種で, 日本では大変珍しく, 岡山県, 福岡県, および大分県からの記録があるだけとされている。

岡山県内については平野・上田, 1993, 渡辺, 1994および山地, 2003によるいずれも真庭市の旧川上村あるいは上徳山と表記した記録が残されている。岡山県南部の旭川が吉備高原地域から平野部に出たばかりの河原にも生息の痕跡が残されていたことは意外な発見であった。

食草については木元・滝沢, 1994はススキとしているが, 渡辺, 1994はヤマハギについていて, ススキには見られなかったとしている。当調査地での確認はスウィーピングによったため, 食草の確認はできていない。

LEPIDOPTERAチョウ目

Colias erate (ESPER) モンキチョウ
1♀, 祇園。

Pieris rapae LINNAEUS モンシロチョウ
1♂, 祇園。

HYMENOPTERAハチ目

Campsomeris prismatica SMITH
キンケハラナガツチバチ
1ex., 玉柏。

Apis mellifera LINNAEUS セイヨウミツバチ
2exs. 目撃, 玉柏。

6. 謝辞

近藤光宏, 澤田博仁両氏からは高梁川, 旭川の河原におけるカワラバッタの最近情報をお聞かせ頂いた。心から謝意を表す。また, 国土交通省岡山河川事務所からは旭川の礫河原再生事業の取り組みについて情報を頂いた。関係各位に感謝の意を表したい。

7. 文献

- 木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539pp.
眞田淳二, 2007. 旭川における自律的回復を目指した礫河原再生について. Web.
日本直翅類学会, 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 687pp.
平野幸彦・上田康之, 1993. ルリナガツツハムシ本州に産す. 月刊むし, (270): 40.
山地治, 2003. 岡山県野生生物調査検討会現地調査報告書. すずむし, (137): 77-78.
渡辺昭彦, 1994. 蒜山高原の興味深いハムシ. すずむし, (128): 14-15.

ナナホシキンカメムシ・鹿児島県・徳之島からの初記録

安田 剛 長*

筆者は、2005年8月7日～11日まで、クワガタ採集目的で鹿児島県徳之島を訪れ、そこでナナホシキンカメムシ *Calliphara nobilis* (LINNAEUS, 1763)を採集し、本種が、同島に生息する事を確認した。これが、徳之島からの初記録となる。そしてまた、灯火に飛来するという興味深い知見も得られたので報告する。

鹿児島県大島郡徳之島町亀津, 2♀1♂, 9.VIII.2005.

鹿児島県大島郡天城与名間, 1♀, 7.VIII.2005.

鹿児島県大島郡徳之島町花徳, 1♀, 8.VIII.2005; 1♂, 10.VIII.2005.

鹿児島県大島郡伊仙町犬田布, 1♀, 10.VIII.2005.

いずれも筆者が採集し、保管している。

昼間、灯火採集のポイントを探しに立ち寄ったコンビニのショウウィンドウの片隅に本種の死体(死後、数日経過し、藍色に変色した小楯板の一部のみ)を発見。もしや?と思い、夜にクワガタ採集で、バナナトラップの見回りついでに、灯火周りをも見回っていたところ、徳之島町花徳の水銀灯にて、多数飛来していたトクノシマノコギリクワガタ *P. dissimillis mokinoi*, 1985ヤトクノシマヒラタクワガタ *D. titanus tokunoshimaensis*, 1985に混じって、ヤシの木の葉上静止している本種を発見、採集した。

4日の滞在期間中、計7個体、島内全域で採集する事ができた。特に飛来数が多かったのは、徳之島南部の亀津であった。そして、いずれの地域でも、本種が得られたのは島の内陸部ではなく、海岸べりであり、すべて灯火による採集である。

筆者は、長年、岡山県のキンカメムシ (*Poecilocoris* 属) 2種、ニシキンカメムシおよびアカスジキンカメムシの生息範囲内でも灯火採集をしているが、今まで、キンカメムシ類 (scutelleridae) が、灯火に飛来したのを見たことが無いし、話に聞いたことも無い。

そして今年、運よく、ナナホシキンカメムシの生態の一環を目にする機会が、得られたので、追記として報告しておく。2007年4月30日、筆者は、与那国島在住の現地の友達の所に遊びに八重山諸島の日本最西端の島、与那国島に行った時、途中、経由した石垣島空港で、与那国島行きの飛行機を待つ間、少し時間があ

ったので、石垣島空港の脇を散策中、空港脇に植えられていたウラジオアカメガシワから本種を多数採取した。いずれの個体も、ウラジオアカメガシワの枝・実から吸汁していた(写真)。

沖縄県八重山郡石垣島石垣空港, 3♀2♂, 30.IV.2007, 筆者採集・保管.



ウラジオアカメガシワの葉から
吸汁中のナナホシキンカメムシ

だが、筆者は、徳之島ではウラジオアカメガシワを目撃していない。この事から徳之島の個体群は、ほかの食草を食性植物としている可能性がある。

本種もニシキンカメムシ同様、死後、体色の変化が見られ、藍色に変化してしまう。

ここ数年、筆者は、夏に奄美諸島に足を運んでいるが、同じ奄美諸島でも、徳之島では色々な種類の昆虫が灯火に飛来し、だいたい種類の昆虫を難無く採集することが可能だが、60kmはなれた奄美大島では、灯火に飛来する昆虫が、あまりにも少ないのには驚かされた。

この事を奄美大島の友人に話したら、友人言わく、両島だけに生息する、ある同種のクワガタでは、奄美大島ではバナナトラップでよく採集できるが、徳之島ではバナナトラップでは採集しにくい傾向があると教えてくれた。両島とも、共通の特徴を持つ固有の昆虫が多いが、生態的な面でも、変化と違いがあるのは、大変興味深い事である。

発表にあたり、従来の分布記録の現状をご教示贈わった埼玉大学の林正美氏、発表を勧めて下さった小野洋氏、毎回奄美大島を訪れた際には、貴重な現地情報を提供して下さいたり、いろいろな面でお世話してくださる、友人のA氏に紙面をお借りして深謝する。

* 〒710-0132 倉敷市藤戸町天城 2183

岡山県から採集した甲虫類の記録

山 地 治*

岡山県下から採集した甲虫類の内、記録の少ないと思われる若干の種について報告する。

貴重な採集品を頂いた藤谷美文氏・片山和久氏・中野一成氏・野嶋宏一氏・瀬島翔馬氏・渡辺和夫氏・渡辺昭彦氏に感謝申し上げる。

また、同定して頂いた秋山美文氏・直海俊一郎博士・的場績氏・水野弘造氏に感謝申し上げる。

頻繁に出てくる採集者名は、藤谷美文氏=F・中野一成氏=KN・瀬島翔馬氏=S・渡辺和夫氏=KW・渡辺昭彦氏=AW・山地治=Yと略記した。

若干の種類には標本写真を付けているが、その番号はリストの番号と対応している。

最近の市町村合併で地名が変わっている所もあるが、採集時点での地名表記にさせて頂いている。

オサムシ科

1. *Elaphropus nipponicus* (HABU et BABA)
セダカコミズギワゴミムシ
1ex., 新見市宇山洞, 7.IX.2003, Y.
1ex., 高梁市中井町上野上, 7.IX.2003, Y.
3exs., 鏡野町人形仙付近, 26.VI.2005, Y.
2. *Stomis japonicus* STRANEO ホソキバナガゴミムシ
1ex., 川上町穴門山神社, 1.V.1994, Y.
1ex., 中和村山乗山, 20.VI.2004, Y.
3. *Colpodes kyushuensis* (HABU)
チャイロホソモリヒラタゴミムシ
1ex., 新見市秘坂鍾乳穴, 3.V.2004, Y.
2exs., 新見市秘坂鍾乳穴, 8.V.2004, Y.
1ex., 津山市奥津川溪谷, 23.X.2005, Y.
4. *Hydrocassis lacustris* (SHARP) マルガムシ
5exs., 総社市下倉槻谷川, 29.III.2007, KN.
1ex., 岡山市御津河内三谷川, 15.IV.2007, Y.

ダルマガムシ科

5. *Ochthebius japonicus* JAECH
ホンシュウセスジダルマガムシ
15exs., 御津町小遠藤(三谷川), 27.IX.2003, Y.
12exs., 高梁市大松佐伏川, 5.V.2006, Y.

3exs., 岡山市御津遠藤(三谷川), 27.V.2007, Y.

ハネカクシ科

6. *Siagonium vittatum* FAUVEL ヒラタハネカクシ
3exs., 奈義町滝山, 3.IV.2006, KN.
1ex., 岡山市四御神龍ノ口山, 21.III.2007, KN.
7. *Stenus okamotoi* NAOMI
2♂, 矢掛町遥照山, 25.IX.2004, Y.
5exs., 倉敷市由加山, 6.II.2005, Y.
直海氏同定。
8. *Stenus gagyumontis* NAOMI
4exs., 岡山市藤ヶ鳴湿地, 30.V.2004, Y.
直海氏同定

ドロムシ科

9. *Elmomorphus brevicornis brevicornis* SHARP
ムナビロツヤドロムシ
1ex., 川上町穴門山神社, 5-6.VIII.2000, KW (灯火).
15exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.
1ex., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.
3exs., 岡山市御津河内, 9.IX.2007, Y.
1ex., 総社市下倉槻谷川(下流部), 29.III.2007, KN.
2exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.50), 29.III.2007, F.
3exs., 岡山市御津奥河内, 9.IX.2007, Y.
1ex., 吉備中央町宇甘溪, 3.XI.2007, Y.
磐窟溪では水中の朽木の窟みに多数の個体が入り込んでいた。

ヒメドロムシ科

10. *Grouvellinus marginatus* (KONO)
キベリナガアシドロムシ
1ex., 備中町角子惣田, 24-25.VII.1992, KW.
1ex., 奈義町西原, 5.VIII.1992, 野嶋 (灯火).
12exs., 新見市草間間歇冷泉, 3.V.2005, Y.
12exs., 高梁市大松佐伏川, 5.V.2006, Y.
1ex., 総社市下倉槻谷川(上流部), 29.III.2007, KN.
3exs., Doi, Akasako, Kagamino-cho, 11.IX.2003, S.
3exs., 鏡野町土居, 5.VIII.2007, Y.

* 〒701-1221 岡山市芳賀5116-11

本種と次種は互によく似ていて区別しがたい。

今回は緒方・中島 (2006) の解説・標本写真に従って同定した。

11. *Grouvellinus nitidus* NOMURA

ツヤナガアシドロムシ

- 1ex., 上斎原村中津河, 1.VIII.1987, Y.
 1ex., 鏡野町土居, 18.VIII.2003, S.
 1ex., 津山市上田邑, 20.X.2003, S.
 10exs., 大佐町御洞溪谷, 2.XI.2003, Y.
 4exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.
 3exs., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.
 1ex., 新見市豊永佐伏寺内, 11.II.2007, Y.
 2exs., 岡山市御津河内, 9.IX.2007, Y.

前種に比べて前胸背の基部が強く湾曲していることで区別したが分かりにくい個体もある。

12. *Leptelmis gracilis* SHARP ヨコミゾドロムシ

- 1ex., 岡山市中原 (祇園用水), 28.IV.2007, Y.
 1ex., 岡山市中原 (旭川), 8.VII.2007, Y.
 1ex., 岡山市建部町竹枝, 9.IX.2007, Y.

レッドデータ種であるが旭川中下流には少なからず分布しているようである。

13. *Leptelmis parallela* NOMURA

ホソヨコミゾドロムシ

- 1ex., 吉井町光木, 29.VIII.1992, KW (灯火).
 1ex., 岡山市中原 (旭川), 7.X.2001, Y.

14. *Neoriohelmis kurosawai* NOMURA

クロサワドロムシ

- 1ex., 真庭市蒜山苗代谷, 15.VIII.2006, Y.

15. *Optioservus* sp. 1 スネアカヒメドロムシ近似種1

- 4exs., 東粟倉村駒ノ尾山山麓, 14.X.2002, Y.
 9exs., 東粟倉村駒ノ尾山山麓, 5.X.2003, Y.
 1ex., 西粟倉村若杉溪谷, 5.X.2003, Y.
 1ex., 真庭市蒜山苗代谷, 15.VIII.2006, Y.

広島・島根で報告されている種類と同じと思われるが、黄色紋の広がった個体も見られる。源流部で採集した。

16. *Optioservus* sp. 2 スネアカヒメドロムシ近似種2

- 1ex., 上斎原村恩原, 6.VII.1989, Y.
 12exs., 鏡野町上斎原赤和瀬, 5.VIII.2007, Y.
 1ex., 加茂町奥津川, 1.VI.2003, Y.

赤和瀬の1ex.と奥津川の個体は黄紋が広がっていて一見前種に見えるが脛節は黒い。

他の個体は安定した4紋型なので複数種含まれているのかもしれない。

セアカヒメドロムシに比べると体長が長く、上翅間室の毛が目立つ。

17. *Optioservus maculatus* NOMURA

セアカヒメドロムシ

- 1ex., 加茂町奥津川, 1.VI.2003, Y.
 7exs., 西粟倉村若杉溪谷, 5.X.2003, Y.
 2exs., 真庭市蒜山苗代谷, 15.VIII.2006, Y.
 3exs., 真庭市蒜山明連溪谷, 28.IV.2007, KN.
 安定した4紋型が見られる。

18. *Optioservus nitidus* NOMURA ツヤヒメドロムシ

- 1ex., 備中町大地, 14.XII.2002, Y.
 5exs., 備中町大地, 24.V.2003, Y.
 14exs., 加茂町奥津溪谷, 1.VI.2003, Y.
 1ex., 奥津町井坂, 26.VIII.2003, Y.
 1ex., 大佐町御洞溪谷, 2.XI.2003, Y.
 2exs., 新見市下湯川, 5.V.2006, Y.
 1ex., 英田町横川天石門別神社, 4.IV.2004, Y.
 1ex., 吉備中央町高富, 11.III.2006, Y.
 1ex., 真庭市蒜山苗代谷, 15.VIII.2006, Y.
 3exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.
 3exs., 新見市佐伏寺内, 11.II.2007, Y.
 1ex., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.
 2exs., 岡山市御津奥河内, 9.IX.2007, Y.

19. *Ordobrevia foveicollis* (SCHONFELDT)

キスジミゾドロムシ

- 1ex., 賀陽町新谷, 18.VII.1986, Y (灯火).
 3exs., 川上町穴門山神社, 14.VII.1990, AW (灯火).
 2exs., 湯原町湯本霞ヶ丘, 24.VIII.1991, AW (灯火).
 灯火にはよく飛来するようだが水中からは未だ採集していない。

20. *Ordobrevia gotoi* NOMURA ゴトウミゾドロムシ

- 1ex., 岡山市中原 (旭川), 7.X.2001, Y.
 1ex., 御津町原 (旭川), 15.IX.2002, Y.
 1ex., 備中町大地, 24.V.2003, Y.
 1ex., 上斎原村吾々路溪谷, 3.VIII.2003, Y.
 1ex., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.
 1ex., 総社市下倉槻谷川 (上流部), 29.III.2007, KN.
 2exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.50m), 29.III.2007, F.
 2exs., 鏡野町赤和瀬, 5.VIII.2007, Y.

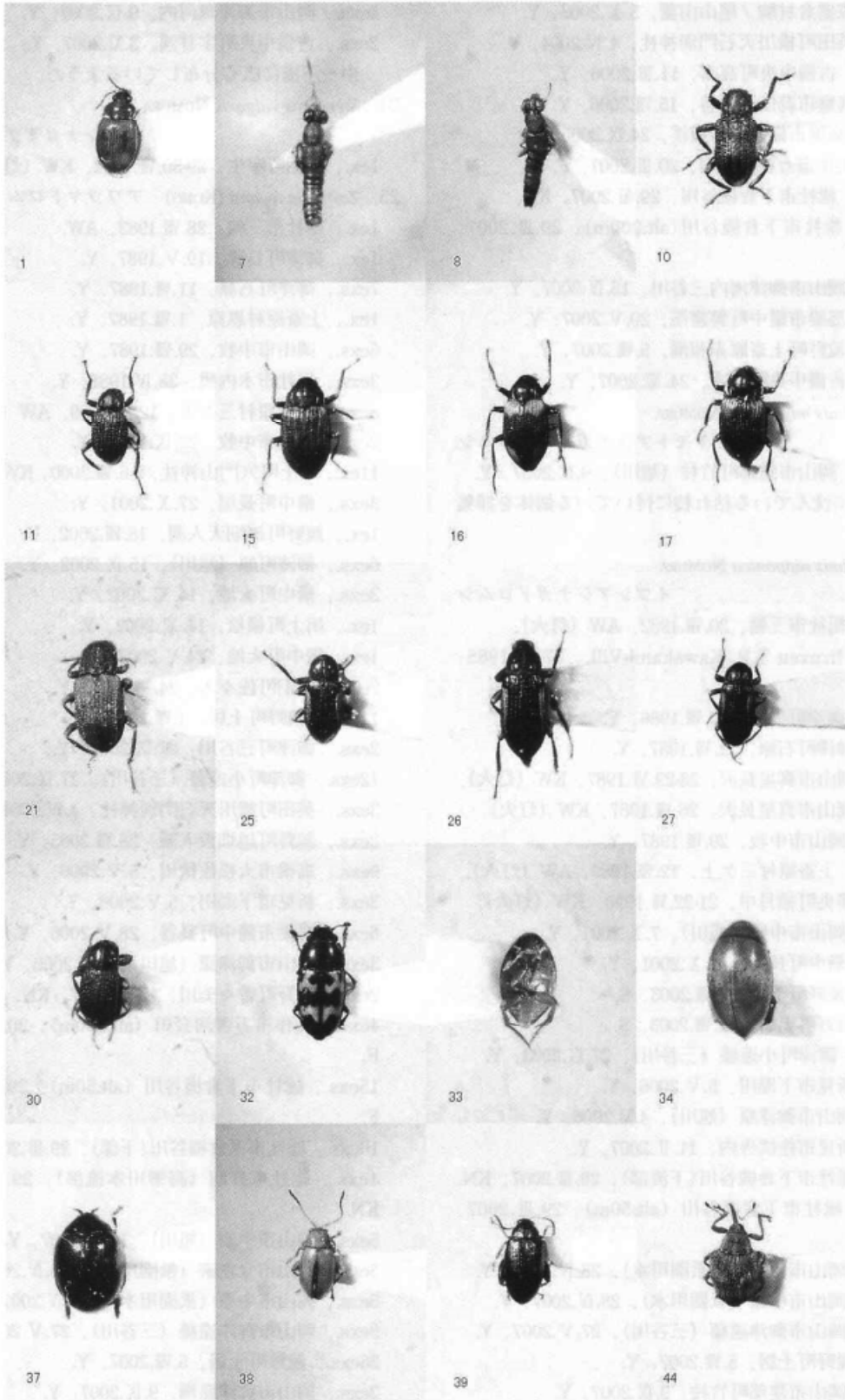
上流から下流まで分布するが個体数は少ないようだ。

21. *Ordobrevia maculata* (NOMURA)

アカモンミゾドロムシ

- 2exs., 鏡野町越畑天人淵, 18.VIII.2002, Y.
 1ex., 東粟倉村駒ノ尾山山麓, 14.X.2002, Y.
 1ex., 加茂町奥津溪谷, 1.VI.2003, Y.
 2exs., 川上町穴門山神社, 27.VI.2003, Y.
 1ex., 西粟倉村若杉溪谷, 5.X.2003, Y.

- 1ex., 東粟倉村駒ノ尾山山麓, 5.X.2003, Y.
 1ex., 英田町横川天石門別神社, 4.IV.2004, Y.
 10exs., 吉備中央町高富, 11.III.2006, Y.
 1ex., 真庭市蒜山苗代谷, 15.VIII.2006, Y.
 6exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.
 1ex., 美作市万善河会川, 20.III.2007, F.
 12exs., 総社市下倉槻谷川, 29.III.2007, KN.
 5exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.200m), 29.III.2007, F.
 2exs., 岡山市御津河内三谷川, 15.IV.2007, Y.
 4exs., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.
 4exs., 鏡野町上斎原赤和瀬, 5.VIII.2007, Y.
 3exs., 吉備中央町高富, 24.XII.2007, Y.
22. *Stenelmis miyamotoi* NOMURA
 ミヤモトアシナガミゾドロムシ
 11exs., 岡山市建部町竹枝 (旭川), 9.IX.2007, Y.
 水中に沈んでいる枯れ枝に付いている個体を採集した。
23. *Stenelmis nipponica* NOMURA
 イブシアシナガドロムシ
 2exs., 総社市三輪, 20.VIII.1982, AW (灯火).
 1ex., Hiruzen T.R. Kawakami-Vill., 17.VIII.1985, AW.
 6exs., 御津町矢原, 12.VIII.1986, Y.
 1ex., 御津町石原, 11.VII.1987, Y.
 1ex., 岡山市真星長沢, 28-29.VI.1987, KW (灯火).
 1ex., 岡山市真星長沢, 26.VIII.1987, KW (灯火).
 6exs., 岡山市中牧, 29.VIII.1987, Y.
 15exs., 上斎原村三ヶ上, 12.VIII.1989, AW (灯火).
 1ex., 勝央町植月中, 21-22.VII.1990, KW (灯火).
 2exs., 岡山市中原 (旭川), 7.X.2001, Y.
 3exs., 備中町長屋, 27.X.2001, Y.
 5exs., 鏡野町土居, 4.VIII.2003, S.
 1ex., 鏡野町土居, 18.VIII.2003, S.
 11exs., 御津町小遠藤 (三谷川), 27.IX.2003, Y.
 1ex., 新見市下湯川, 5.V.2006, Y.
 1ex., 岡山市御津原 (旭川), 4.XI.2006, Y.
 1ex., 新見市佐伏寺内, 11.II.2007, Y.
 1ex., 総社市下倉槻谷川 (下流部), 29.III.2007, KN.
 4exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.50m), 29.III.2007, F.
 5exs., 岡山市今在家 (祇園用水), 28.IV.2007, Y.
 3exs., 岡山市中原 (祇園用水), 28.IV.2007, Y.
 2exs., 岡山市御津遠藤 (三谷川), 27.V.2007, Y.
 1ex., 鏡野町土居, 5.VIII.2007, Y.
 4exs., 岡山市建部町竹枝, 9.IX.2007, Y.
- 4exs., 岡山市御津奥河内, 9.IX.2007, Y.
 2exs., 吉備中央町宇甘溪, 3.XI.2007, Y.
 中～下流に広く分布しているようだ。
24. *Stenelmis vulgaris* NOMURA
 アシナガミゾドロムシ
 1ex., 佐伯町宇生, 29-30.VII.1992, KW (灯火).
25. *Zaitzevia awana* (KONO) アワツヤドロムシ
 1ex., 総社市三輪, 28.VIII.1982, AW.
 1ex., 御津町石原, 19.V.1987, Y.
 7exs., 御津町石原, 11.VII.1987, Y.
 1ex., 上斎原村恩原, 1.VIII.1987, Y.
 5exs., 岡山市中牧, 29.VIII.1987, Y.
 3exs., 総社市水内橋, 28.IV.1988, Y.
 8exs., 上斎原村三ヶ上, 12.VIII.1989, AW (灯火).
 2exs., 岡山市中牧, 22.IX.1991, Y.
 11ex., 川上町穴門山神社, 5-6.VIII.2000, KW (灯火).
 3exs., 備中町長屋, 27.X.2001, Y.
 1ex., 鏡野町越畑天人淵, 18.VIII.2002, Y.
 6exs., 御津町原 (旭川), 15.IX.2002, Y.
 3exs., 備中町大地, 14.XII.2002, Y.
 1ex., 川上町横松, 14.XII.2002, Y.
 1ex., 備中町大地, 24.V.2003, Y.
 2exs., 成羽町佐々木, 24.V.2003, Y.
 11exs., 鏡野町土居, 4.VIII.2003, S.
 2exs., 御津町三谷川, 27.IX.2003, Y.
 12exs., 御津町小遠藤 (三谷川), 27.IX.2003, Y.
 3exs., 英田町横川天石門別神社, 4.IV.2004, Y.
 2exs., 鏡野町越畑天人淵, 28.VIII.2005, Y.
 9exs., 高梁市大松佐伏川, 5.V.2006, Y.
 3exs., 新見市下湯川, 5.V.2006, Y.
 6exs., 高梁市備中町長谷, 28.V.2006, Y.
 3exs., 岡山市御津原 (旭川), 4.XI.2006, Y.
 2exs., 鏡野町香々美川, 17.III.2007, KN.
 4exs., 美作市万善河会川 (alt.200m), 20.III.2007, F.
 15exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.50m), 29.III.2007, F.
 10exs., 総社市下倉槻谷川 (下部), 29.III.2007, KN.
 4exs., 総社市日羽 (高梁川本流部), 29.III.2007, KN.
 5exs., 岡山市中原 (旭川), 15.IV.2007, Y.
 5exs., 岡山市今在家 (祇園用水), 28.IV.2007, Y.
 5exs., 岡山市中原 (祇園用水), 28.IV.2007, Y.
 9exs., 岡山市御津遠藤 (三谷川), 27.V.2007, Y.
 26exs., 鏡野町土居, 5.VIII.2007, Y.
 2exs., 岡山市御津鹿瀬, 9.IX.2007, Y.



3exs., 岡山市御津奥河内, 9.IX.2007, Y.

3exs., 吉備中央町宇甘溪, 3.XI.2007, Y.

上流から下流までの明るい瀬に多い。

備中町大地の記録はすずむし(140):p.82で報告しているが, 2種混じっていたようなので改めて報告する。

26. *Zaitzevia nitida* NOMURA ツヤドロムシ

1ex., 上斎原村吾々路溪谷, 3.VIII.2003, Y.

1ex., 上斎原村中津河, 1.VIII.1987, 山地

1ex., 上斎原村恩原, 1.VIII.1987, 山地

上翅にツヤがあり点刻が基部まで大きさを変えない。

中国地方各県とも局所的に分布しているようだ。

27. *Zaitzevia rivalis* NOMURA ミゾツヤドロムシ

5exs., 上斎原村中津河, 1.VIII.1987, Y.

1ex., 川上町穴門山神社, 5-6.VIII.2000, KW (灯火)。

2ex., 備中町大地, 24.V.2003, Y.

1ex., 西栗倉村若杉溪谷, 5.X.2003, Y.

2exs., 上斎原村吾々路溪谷, 3.VIII.2003, Y.

2exs., 鏡野町越畑天人淵, 28.VIII.2005, Y.

18exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.

19exs., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.

1ex., 美作市万善河会川 (alt.200m), 20.III.2007, F.

1ex., 総社市下倉槻谷川 (alt.200m), 29.III.2007, F.

薄暗い沢に生息しているようで, アワツヤドロムシとは棲み分けているようだ。備中町大地と上斎原村吾々路溪谷の記録はすずむし140号でアワツヤドロムシとして報告したものであるが, 再検討したところ本種と同定出来たので訂正させていただく。

28. *Zaitzeviaria brevis* (NOMURA) ヒメツヤドロムシ

11exs., 美作市万善河会川, 20.III.2007, F.

1ex., 岡山市御津遠藤 (三谷川), 27.V.2007, Y.

5exs., 岡山市御津遠藤 (三谷川), 27.IX.2003, Y.

5exs., 英田町横川天石門別神社, 4.IV.2004, Y.

1ex., 鏡野町土居, 5.VIII.2007, Y.

砂底に近い小さな礫の河底にいるようである。

29. *Zaitzeviaria gotoi* (NOMURA)

ホソヒメツヤドロムシ

2exs., 奥津町井坂, 26.VIII.1990, Y.

1ex., 上斎原村赤和瀬, 4.V.2003, Y.

9exs., 備中町大地, 24.V.2003, Y.

1ex., 御津町三谷川, 27.IX.2003, Y.

16exs., 英田町横川天石門別神社, 4.IV.2004, Y.

3exs., 高梁市大松佐伏川, 5.V.2006, Y.

1ex., 高梁市備中町長谷, 28.V.2006, Y.

4exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.

2exs., 新見市佐伏寺内, 11.II.2007, Y.

22exs., 美作市万善河会川 (alt.200m), 20.III.2007, F.

15exs., 総社市下倉槻谷川 (下流部), 29.III.2007, KN.

1ex., 総社市下倉槻谷川 (上流部), 29.III.2007, KN.

1ex., 総社市下倉槻谷川, 29.III.2007, F.

17exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.50m), 29.III.2007, F.

9exs., 岡山市御津河内三谷川, 15.IV.2007, Y.

3exs., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.

1ex., 上斎原村赤和瀬, 5.VIII.2007, Y.

上~中流の狭い谷川で得られる。

30. *Zaitzeviaria ovata* (NOMURA)

マルヒメツヤドロムシ

3exs., 高梁市備中町磐窟溪, 24.IX.2006, Y.

2exs., 新見市佐伏寺内, 11.II.2007, Y.

1ex., 美作市万善河会川 (alt.200m), 20.III.2007, F.

7exs., 総社市下倉槻谷川 (上流部), 29.III.2007, KN.

8exs., 総社市下倉槻谷川 (alt.200m), 29.III.2007, F.

2exs., 岡山市御津河内三谷川, 15.IV.2007, Y.

3exs., 高梁市備中町磐窟溪, 20.V.2007, Y.

吉備高原の前種と同じような環境で得られるが個体数は少ない。

コメツキムシ科

31. *Orthostethus kometsuki* (KISHII)

ヒメオオナガコメツキ

1♂, 鏡野町根知峠, 13.VIII.2005, Y (灯火)。

ケシキスイ科

32. *Librodor christophi* (REITTER)

クリストフオニケシキスイ

1ex., 真庭市湯原小童谷, 15.IV.2007, KN.

ナガクチキムシ科

33. *Lederina japonica* (REITTER) チビノミナガクチキ

1ex., 高梁市臥牛山, 2.III.2004, KN.

1ex., 岡山市御津徳蔵神社, 13.II.2005, Y.

いずれも水野氏同定。

34. *Lederina angusticanalis* (SASAJI)

- ミゾボソノミナガクチキ
2exs., 新見市哲多町荒戸山, 15.VI.2003, F.
1ex., 岡山市牟佐滝の口山北麓, 1.II.2004, Y.
いずれも水野氏同定。
35. *Microscapha yamato* ISHIKAWA et SAKAI
ヤマトホソノミナガクチキ?
1ex., 新見市哲多町無明谷, 18.V.2003, Y.
水野氏同定。
- ハムシ科
36. *Argopistes biplagiatus* MOTSCHULSKY
テントウノミハムシ
1ex., 岡山市芳賀, 28.V.2005, Y.
1ex., 岡山市芳賀, 5.VI.2005, Y.
自宅の庭木の葉に止まっている個体を採集。その後自宅周辺を見て回ったところ、近所の家の庭にヒイラギがあり、葉裏に本種が止まっていた。
37. *Argopistes unicolor* JACOBY
クロテントウノミハムシ
1ex., 新庄村毛無山, 5.VII.1994, 野嶋氏採集。
1ex., 高梁市備中町金平国有林, 14.V.2006, Y.
秋山氏同定。
38. *Aphthona yuasai* OHNO アヤメツブノミハムシ
13exs., 中和村初和, 8.VII.2006, Y.
湿地でアヤメ類のスィーピングで採集した。
39. *Psylliodes attenuata* (KOCH) アサトビハムシ
2exs., 中和村初和, 8.VII.2006, Y.
40. *Demotina tuberosa* CHEN コブアラゲサルハムシ

1ex., 真庭市湯原小童谷, 15.IV.2007, KN.

ゾウムシ科

41. *Corymacronus costulatus* (MOTSCHULSKY)
ハスオビクチプトゾウムシ
6exs., 真庭市蒜山初和, 27.VII.2002, Y.
1ex., 真庭市蒜山初和, 8.VII.2006, Y.
2002年の記録は筆者がすずむし138号p.23 (2004)に *Canoixus japonicus* ROELOFS サビクチプトゾウムシとして報告したものである。
森本他 (2006) によって再検討したところ上記種と同定出来たのでお詫びして訂正する。記録の少ない種のようなのであるが、当地のオニグルミに普通に止まっているようだ。
42. *Acalyptus trifasciatus* (ROELOFS) オビデオゾウムシ
1ex., 岡山市建部町竹枝, 9.IX.2007, Y.
センダンの枝先のピーティングで採集できた。
43. *Curculio hime* (KONO) ヒメシギゾウムシ
3exs., 中和村山乗山, 21.IX.2002, 片山氏採集 (灯火)。
1ex., 加茂町根知峠, 15.VIII.2004, F (ライト)。
44. *Hainokisaruzo infuscatus* YOSHITAKE et COLONNEL
1ex., 西粟倉村若杉, 9.VII.1994, KW.
的場氏同定。

参考文献

緒方健・中島淳, 2006. 福岡県のヒメドロムシ, ホシザキグリーン財団研究報告 (9) : 227-243.

おとしぶみ

ヤエムグラを食べるヒメツチハンミョウ

脇本 浩

筆者は、ヒメツチハンミョウの成虫がヤエムグラの葉を食べているところを観察しているので報告する。

2007年5月1日、総社市原瀬瀬の道縁で、ヤエムグラに止まっていた本種♂1♀1を見つけた。しばらく観察したところ、ヤエムグラに食痕らしき跡があったので、生きたまま持ち帰り飼育することにした。ヤエムグラを与えて飼育した結果、♀は5月13日に、♂は5月16日にそれぞれ死亡した。写真は飼育中の♂で5月6日に写したものである。

標本は筆者が保管している。

なお、ヒメツチハンミョウを同定していただいた倉

敷市立自然史博物館学芸員の奥島雄一博士にお礼申し上げる。



(〒719-1175 総社市清音上中島362-2)

FITによって採集されたチビシデムシ

藤谷美文*

はじめに

チビシデムシの採集法はベイトトラップによる方法が一般的であるが、最近FIT (Flight Interception Trap) による採集も効果的であることが明らかになってきた。

筆者は岡山県各地でFITによる甲虫採集を試みられている倉敷市の渡辺昭彦氏から、西粟倉村ダルガ峰及び新見市草間にてFITにより採集されたチビシデムシを戴いたので調べてみたところ14種のチビシデムシを確認できたので報告する。

調査地の概要及び調査期間

調査地：岡山県西粟倉村ダルガ峰 (標高約1000m地点)

調査地は駒ノ尾山からダルガ峰の稜線を走る林道沿いの広葉樹林である。本来はブナ林であったが現在は伐採され、多くは針葉樹の植林地となっている。谷筋などには細々と遺存的な植生が残されており、トラップはその様なブナ-ミズナラ植生を中心に設置されたが、これらは小径木が多く多分に再生林と思われる。やや開放環境である。

10基程度のFITを設置。

調査期間：2006年5月28日から10月15日まで。

採集者：渡辺昭彦

調査地：岡山県新見市草間 (標高約150m地点)

調査地は高梁川沿いを走る国道180号沿いで、国道から数メートル入ったモミ、ケヤキを中心とし多くの常緑樹も交える崖斜面のよく成長した二次混交林で、暗くて湿度が高い。

4基程度のFITを設置。

調査期間：2006年4月23日から9月3日まで。

採集者：渡辺昭彦

調査結果

調査の結果14種のチビシデムシ亜科の甲虫を記録した。別表のように、ダルガ峰 (表1) で112個体、14種。草間 (表2) では39個体、6種である。以下に採集された種の目録を示す。目録には筆者の最近の知見をもとに、種ごとの中国地方における季節消長や生態的知見などを記述した。

なお、分類体系はPerreau (2004) に従った。

タマキノコムシ科 Family Leiodidae

チビシデムシ亜科 Subfamily Cholevinae

ホソアシチビシデムシ族 Tribe Anemadini

Subtribe Nemadina

1. クリバネチビシデムシ

Micronemadus pusillimus (KRAATZ, 1877)

6月に出現のピークがあり、沢山の個体が獣糞や白骨化した動物の遺骸に集まる。8月頃テネラルな個体が得られるが、その出現数は少ない。

2. ヒメチビシデムシ

Nemadus japonus COIFFAIT et S.UENO, 1955

中国地方には同属の3種が生息するが、出現時期が少しずつずれており、ヒメチビシデムシは5月と8月、イシハラヒメチビシデムシは3月と11月、タンザワヒメチビシデムシは6月と9月にそれぞれ出現のピークがある。

チビシデムシ族 Tribe Cholevini

Subtribe Catopina

3. クシヒゲチビシデムシ

Catopodes fuscifrons (KRAATZ, 1877)

5~6月及び9~10月に出現するが、出現期間は一般に短い。出現個体の性比は、春期と秋期との間に顕著な差は見られない。

4. ルイスチビシデムシ

Catops angustitarsis lewisi JEANNEL, 1936

早春から出現する種で4月に出現のピークがあり、以後減少し6月頃まで見られる。

山地性の種であるが中国地方では自然度の高い中山地にも分布する。食糞性の強い種である。

5. ヒレルチビシデムシ *Catops hilleri* KRAATZ, 1877

春と秋に出現のピークがあり、7~8月に出現することは、ほとんど無い。

ヒレルグループの中では低地から高地まで広く分布する種であるが、おもに低地から中山地で優位な種である。

6. シバタチビシデムシ

Catops shibatai Y.HAYASHI, 1987

* 〒701-1143 岡山市吉宗137

同グループの前種と出現の消長が重なっており、生態もよく似ていて競合関係にあるが、本種は山地性の傾向が強く高地では優位となっている。

7. ミヤマチビシデムシ

Catops sparsepunctatus JEANNEL, 1936

山地性の種で、ブナ帯に多いが、中国地方での分布は断続的である。

5~6月及び10~11月に出現のピークがあり、8月にテネラルな個体が得られた。

8. ホソムネコチビシデムシ

Mesocatops japonicus (JEANNE, 1936)

ヒレルチビシデムシと同様に平地から山地まで広く分布する種である。

出現のピークは低山地では4~5月及び9~10月であるが、山地では8月及び11月に出現ピークがある。この傾向はベイトトラップによる調査だと明瞭だが、FITによる調査だとピークを捕らえづらいようだ。

9. カバイロコチビシデムシ

Sciodreporoides fumatus fumatus (SPENCE, 1815)

オオクロチビシデムシと同様にFITにあまり落ちない種であるが、山地では優占種である。

ベイトトラップによる調査だと、中国地方では5月に出現のピークがあり、8月頃まで観察される。

10. キョウトコチビシデムシ

Sciodreporoides tsukamotoi NAKANE, 1956

低山地から中山地に分布する種で少ない。

早春及び晩秋に出現し、獣糞を好む傾向がある。

11. *Sciodreporoides* sp. (ツメプトコチビシデムシ)

中国地方のブナ帯など山地に広く分布する種で、春沢(2000)が述べている種と同種である。

春と秋に出現のピークがあり、小動物の遺骸に集まる。少なくない種である。

Subtribe Cholevina

12. オオクロチビシデムシ

Prionocheata harmandi harmandi PORTEVIN, 1902

大型の種で山地では優占種となる場合が多いが、FITで採集される個体は極めて少ない。5月から9月まで連続して出現するが、7月に出現数が減少する。

ニセチビシデムシ族 Tribe Ptomaphagini

Subtribe Ptomaphagina

13. ハギニセチビシデムシ

Ptomaphagus kuntzeni SOKOLOWSKI, 1957

中国地方では、湿潤、冷涼で自然度の高い環境であれば低地から山地まで広く分布する優占種である。

4月から9月まで連続的に出現し、明瞭な出現ピークが見られないが、5月から7月に最も多く出現する。

14. ニセチビシデムシ

Ptomaphagus sibiricus JEANNEL, 1934

中国地方では低山地から山地まで広く生息しているが、多くない種である。クヌギ-コナラ群落の二次林からブナ-ミズナラ再生林に生息しており、比較的明るい林内を好むようだ。

中国地方では最近生息が知られるようになった種で、その生態には不明な点が多いが、5月から8月にかけてFITで採集されることが多い。筆者は3月に落葉下から成熟した雌を得ている。また、5月にベイトトラップでテネラルな個体を得ている。

考 察

ダルガ峰ではヒレルチビシデムシとホソムネコチビシデムシ、ハギニセチビシデムシが最も多く採集された。同地の標高及び植生からチビシデムシの環境選好性を考えれば、オオクロチビシデムシやカバイロコチビシデムシも、優占種となると思われるが、採集された両種の個体数は前種に比較して著しく少ない。この事は山乗山での調査結果(藤谷, 2006)で述べたように、チビシデムシ類ではFITによる採集個体数が優占順位をあまり反映しない事によるものと思われる。

FITによる周年調査により、季節消長を知ることのできる甲虫類がある(三木, 2006)。しかし筆者の経験ではチビシデムシ類のFITによる採集結果は季節消長が判然としにくい。今回の調査結果も出現ピークが明瞭でなく、目録で記述した中国地方の季節消長(ベイトトラップによる採集結果に基づく)と必ずしも一致していない。この事より、地表性甲虫であるチビシデムシ類は地表での食物探索などのために積極的に飛翔しないのではないかと考えられる。一方ベイトトラップによる調査では、林(1985)やKatakura & Fukuda(1975)が報告しているように季節消長や優占種の環境選好性がよく現われており有効な調査手段と思われる。ただしベイトトラップでは優占種が大量に集まるため、優位でない種がベイトに近づけず採集しにくい。チビシデムシ相の調査にはベイトトラップとFITの併用が望ましいであろう。

草間ではヒメチビシデムシとハギニセチビシデムシが最も多く採集された。調査地は、よく成長した樹木による日陰で、湿度の高いガレ沢である。両種はその様な環境を好むことから、調査地の微環境が採集結果の要因と考えられる。

ダルガ峰、草間の両地点で確認された種数及び個体数に大きな差があった。ダルガ峰で採集された種の内、

採集日	種名 クハバチビ シデムシ	ヒメチビシ デムシ	オオクロチ ビシデムシ	ミヤマチビシ デムシ	シバタチビ シデムシ	ヒレルチビ シデムシ	ルイスチビシ デムシ	クシビゲチビ シデムシ	ホノムネコチ ビシデムシ	キョウトコチ ビシデムシ	カバイロコチ ビシデムシ	ツメプトコチ ビシデムシ	ニセチビシ デムシ	ハギニセチ ビシデムシ
2006年														
5.28~6.4	1	1				2	1	1	2			2	1	1
6.4~6.10			1			7		1	2					2
6.10~6.18	1					9	1	1						1
6.18~6.25		2				8	1		2				2	4
6.28~7.2						2		1						1
7.2~7.7									2					1
7.7~7.20									1		2			4
7.20~7.29	1								3		1			1
7.29~8.6	1								2		2			2
8.6~8.12									2				1	1
8.12~8.20									1					
8.30~9.17				1					3		1			
9.17~9.24								1	2					
9.24~10.8						3		2						
10.8~10.15					5				3	1				
合計	4	3	1	1	5	31	3	7	25	1	7	2	4	18

ダルガ峰で採集されたチビシデムシ (表1)

ミヤマチビシデムシ、シバタチビシデムシ、ツメプトコチビシデムシの3種は山地性の種であるから草間から採集されていないが、それを差し引いても種数で約倍の差があり、採集個体数では、採集期間の違いがあるものの、約3倍の差があり、草間の採集結果は単調で貧弱である。これらの差が生じた原因の多くはFITの設置数と設置場所に由来すると思われるが、草間の調査地は大型トラックをはじめとする車両が頻繁に行き交う主要国道から僅か数メートル林内に入った地点であり、排気ガスの影響も免れないものと思われる。

筆者は中国地方におけるチビシデムシにとっての良好な環境の目安として、広葉樹を中心とした森林では、一地域で確認される種数が10種以上であると考えている。草間の6種はやはり単調で、チビシデムシの生息を阻害する何らかの要因があったものと考えざるを得ない。

文末ながら本報告は渡辺昭彦氏の御努力の賜物である。FITによる連続調査を行うには相当な忍耐力を要することは経験者ならご承知であろう。紙面を借りて敬意を表したい。

なお、渡辺氏作成の吊り下げ式FITは、設置が容易で、保存液の使用量も少なく、使い勝手の良い逸品である事を付け加えておきたい。

参考文献

藤谷美文, 2006. 山乗山(岡山県)のチビシデムシ. ハネカクシ談話会ニュース, (27): 6.
 春沢圭太郎・山本栄治, 2000. 小田深山とその周辺のチビシデムシ. 小田深山の自然II: 241-247.
 林 靖彦, 1985. 雨石山麓において鶏肉トラップに誘致された甲虫類について(1). ねじればね, (52): 1-7.
 Katakura, H. and H. Fukuda 1975. Faunal makeup of

ground and carrion beetles in Kamiotoineppu, Hokkaido University Nakagawa Experiment Forest, Northern Japan, with some notes on related problems. *Res. Bul. Coll. Exp. For. Coll. Agr. Hokkaido Univ.*, 32(1): 75-92.

三木武司, 2006. 旧綾上町「里山」でFIT(フライト・インターセプション・トラップ)によって採集した甲虫. へりぐろ, (27): 2-16.

Perreau, M., 2004. Subfamily Cholevinae, pp. 134-179. In: Löbl, I. & A. Smetana (ed.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, Vol. 2, Stenstrup: Apollo Books, 942pp.

採集日	種名 ヒメチビシ デムシ	ヒレルチビ シデムシ	ルイスチビシ デムシ	ホノムネコチ ビシデムシ	ニセチビシ デムシ	ハギニセチ ビシデムシ
2006年						
4.23~4.30				1		4
4.30~5.6			1			1
5.7~5.14	1	1			1	2
5.14~5.21	1					1
5.21~5.27	2					1
5.27~6.4	2					1
6.4~6.11	1					
6.17~6.24			1			
6.24~7.7	2					2
7.7~7.23	6				1	1
7.17~7.24		1				1
7.30~8.6	1					
8.17~9.3	1			1		
合計	17	2	2	2	2	14

草間で採集されたチビシデムシ (表2)

おとしぶみ

岡山県におけるヒメハルゼミの新産地

安田 剛 長

2007年9月1日、倉敷昆虫館を訪れた際、小野洋館長から、先程、近藤光宏氏が、お見えになり、筆者が、6年前に昆虫館に寄贈したヒメハルゼミの標本ラベルをみて新産地とおっしゃられたらしく、小野氏から、採集から6年も経っているが、岡山県におけるヒメハルゼミの詳細な分布域の重要な証拠資料となるので、機関誌に報告してみてもどうか？とおっしゃられたので、当地でのヒメハルゼミの発見から採集に至るまでの経緯とその後のヒメハルゼミの生息状況を報告する。

2001年7月14日、筆者は、中学からの友人の吉田尚史君と、毎年、夏恒例の灯火廻り（ドライブ）による昆虫採集に出かけていた。目的は、ミヤマクワガタである。

国道180号を上り、高梁地区から、ポイントに入っていく、灯火を見回り、採集しながら、次第に北上して行き、阿神トンネルを抜けた辺りの、ミヤマクワガタがよく飛来しているポイントで、小休止がてら、林道脇にある自動販売機に缶ジュースを買いに行った時、自動販売機の蛍光灯に向かって、何か？が、しきりにぶつかっているのを、発見！近寄りその個体を手にとった瞬間、ヒグラシの小型個体？と思ったが、背面模様と体色の色彩に相違点が見受けられたため、もしかして？？ヒメハルゼミと思い、その個体を持ち帰り、後日、昆虫館の館長である、小野氏に同定を依頼した結果、ヒメハルゼミに間違いのないとの返事をもらい、昆虫館にその個体標本を寄贈したものである。

<データ>

ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis* MATSUMURA

1♀、岡山県新見市（旧阿哲郡）神郷町、14.VII.2001、筆者採集・倉敷昆虫館保管。

ヒメハルゼミは、ヒグラシ(*Tanna japonensis japonensis*)同様、灯火に飛来する投光性が、強いいためか、ここ近年、開発が進む新見市辺りで大型スーパーなどが増え、駐車場などに設置された水銀灯に、年々数々の飛来個体を目にするようになった。

新見市では、石蟹辺りから灯火に飛来する個体が見られ、それより少し南下した唐松では灯火に飛来していないので、どうやらこの辺りが分布の境界線になっているのだろうと思う。

ヒメハルゼミの分布を調査するには、日中、林に入って鳴き声を頼りに目を凝らしながら採集するより、灯火採集を行った方が、体力を労費する割合が、極端に少なく、夜なので、セミにも逃げられず、楽に、数も採集できるので、これから、ヒメハルゼミの採集を試みようとする方々にお勧めである。

未筆であるが、発表を心よく許してくれた、倉敷市立自然史博物館前館長の近藤光宏氏、倉敷昆虫館館長の小野洋氏、そして、今でも親しくさせて下さっている、友人の吉田尚史氏に心から厚くお礼申し上げる。

(〒710-0132 倉敷市藤戸町天城2183)

旭川水系のグンバイトンボ追加記録

澤田 博 仁

筆者は以前旭川水系でのグンバイトンボの初採集記録として、御津郡建部町田地子の記録を報告（筆者、1997）しているが、その後まさに旭川本流で数多く採集したので、追加記録として報告しておく。

14♂4♀、16.VI.2000、筆者（うち4♂は澤田愛子）採集・筆者保管。

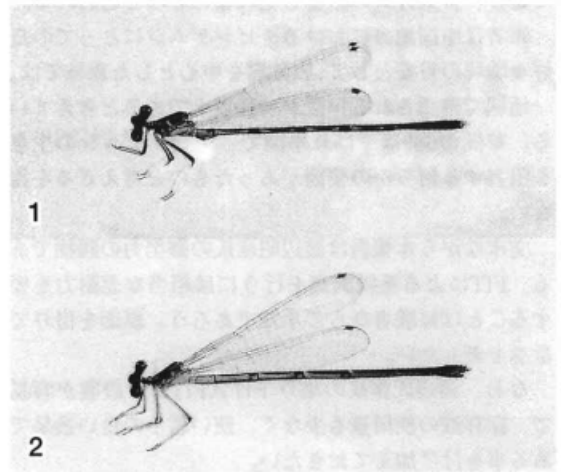


写真1：♂、写真2：♀

なお、蛇足ながら、本種は岡山県レッドリストでは準危急種であり、国のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されている貴重なトンボの一種である。

引用文献

澤田博仁、1997、旭川水系のグンバイトンボ、初採集記録、すずむし、(131)：76。

(〒701-1151 岡山市津高台1丁目2009-3)

倉敷市立自然史博物館収蔵のカメムシ類 (1)

— 竹内幸夫コレクション —

野崎達也*・野崎陽子*

I. はじめに

倉敷市立自然史博物館には、約30万点にのぼる昆虫標本が収蔵され、多くの研究者によって研究資料として活用されている。筆者らは、こうした貴重な収蔵標本の一部を検査する機会を得たので、ここに報告する。

今回検した標本は、津山市在住の竹内幸夫氏によって2003年に寄贈されたものである。竹内氏は、コガネムシ類やカミキリムシ類を中心に、県内外を問わず精力的に採集活動を続けられてきた方である。特に1980年代以降は、中国地方の枠をはるかに超え、遠く南西諸島にまで再三足を運ばれている。こうした中、採集の中心とはなり得なかったであろうカメムシ類まで丁寧整理され、寄贈された標本群は、往時のカメムシ相を知る貴重な資料となっている。

II. 採集記録

採集は全て竹内氏によるものである。採集地については、ラベルに記載された市町村名を遵守し、その上で市町村合併による変更があった場合にはその旨を付記した。標本写真は、分布上の新見知となったクロボシサシガメとイネカメムシの2種についてのみ付した。

なお、以下の採集記録は、岡山県産のものと同県外産のものに分けて整理している。

【岡山県産】

Cimicomorpha トコジラミ下目

Nabidae マキバサシガメ科

1. *Gorpis brevilineatus* (SCOTT) アカマキバサシガメ
1ex., 津山市黒沢山, 3.V.1960.
1ex., 津山市津川, 5.VII.1970.

Reduviidae サシガメ科

2. *Agriosphodrus dohrni* (SIGNORET)
ヨコヅナサシガメ
1ex., 美甘村 (現 真庭市), 29.VI.1980.
3. *Cydnocoris russatus* STAL アカサシガメ
1ex., 久米町 (現 津山市), 31.VII.1958.
1ex., 鏡野町井村, 5.V.1960.

1ex., 富村 (現 鏡野町), 2.VI.1963.

4. *Isyndus obscurus* (DALLAS) オオトビサシガメ

1ex., 津山市, 3.II.1969.

1ex., 久米町 (現 津山市), 12.V.1969.

5. *Rhynocoris ornatus* (UHLER) アカヘリサシガメ

1ex., 花知ヶ仙 (現 鏡野町), 17.VI.1962.

6. *Sphedanolestes impressicollis* (STAL) シマサシガメ

1ex., 加茂町倉見 (現 津山市), 21.VI.1964.

1ex., 久米南町, 8.VI.1968.

4. *Velinus nodipes* (UHLER) ヤニサシガメ

1ex., 奥津町三子原 (現 鏡野町), 12.VI.1966.

5. *Reduvius humeralis* (SCOTT) クビアカサシガメ

1ex., 津山市津川山, 5.VII.1970.

6. *Oncocephalus assimilis* REUTER トビイロサシガメ

1ex., 久米町 (現 津山市), 2.VIII.1969.

7. *Ectrychotes andreae* (THUNBERG) ピロウドサシガメ

1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 17.VI.1962.

4exs., 津山市, 5.III.1966.

8. *Haematoloecha delibuta* (DISTANT)

クビグロアカサシガメ

1ex., 津山市黒沢山, 1.V.1960.

9. *Haematoloecha nigrorufa* (STAL) アカシマサシガメ

1ex., 津山市一宮, 1.V.1960.

1ex., 津山市, 16.IX.1963.

10. *Sirthena flavipes* (STAL) キイロサシガメ

1ex., 津山市, 15.VII.1962.

Pentatomorpha カメムシ下目

Lygaeidae ナガカメムシ科

11. *Arocatus melanostoma* SCOTT セスジナガカメムシ
1ex., 津山市黒沢山, 15.VI.1969.
12. *Togo hemipterus* (SCOTT)

コバネヒョウタンナガカメムシ

1ex., 久米町 (現 津山市), 19.IX.1960.

Pyrrhocoridae ホシカメムシ科

13. *Physopelta cincticollis* STAL ヒメホシカメムシ
1ex., 高梁市臥牛山, 30.IV.1969.
1ex., 津山市, 4.V.1978.

Coreidae ヘリカメムシ科

14. *Acanthocoris sordidus* (THUNBERG)

ホオズキカメムシ

* 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園
3-25-28-1205

- 1ex., 久米町 (現 津山市), 10.VI.1956.
 1ex., 津山市, 16.IX.1963.
16. *Anacanthocoris striicornis* (SCOTT) オオクモヘリカメムシ
 1ex., 津山市, 10.X.1961.
 1ex., 津山市, 20.II.1977.
17. *Cletus punctiger* (DALLAS) ホソハリカメムシ
 2exs., 津山市日本原, 5.VIII.1975.
 1ex., 津山市林田, 30.VIII.2003.
17. *Cletus rusticus* STAL. ハリカメムシ
 1ex., 阿波村 (現 津山市), 5.VI.1960.
18. *Homoeocerus dilatatus* HORVATH ハラピロヘリカメムシ
 1ex., 久米町 (現 津山市), 15.VI.1956.
 1ex., 西粟倉村若杉峠, 29.VI.1970.
19. *Homoeocerus unipunctatus* (THUNBERG) ホシハラピロヘリカメムシ
 1ex., 久米町 (現 津山市), 15.VI.1956.
20. *Hygia (Colpura) lativentris* (MOTSCHULSKY) オオツマキヘリカメムシ
 1ex., 阿波村 (現 津山市), 5.VI.1960.
 1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 20.V.1962.
21. *Plinactus bicoloripes* SCOTT キバラヘリカメムシ
 1ex., 津山市, 10.XI.1979.
 1ex., 津山市, 1.XII.1979.
 1ex., 津山市, 16.IV.1980.
Alydidae ホソヘリカメムシ科
22. *Paraplesius unicolor* SCOTT ヒメクモヘリカメムシ
 1ex., 阿波村 (現 津山市), 5.VI.1960.
Rhopalidae ヒメヘリカメムシ科
23. *Rhopalus maculatus* (FIEBER) アカヒメヘリカメムシ
 2exs., 津山市林田, 21.IV.1968.
Plataspidae マルカメムシ科
24. *Coptosoma biguttulum* MOTSCHULSKY ヒメマルカメムシ
 2exs., 奈義町那岐山, 14.VI.1968.
25. *Megacopta punctatissima* (MONTANDON) マルカメムシ
 1ex., 鏡野町井村, 5.V.1960.
 1ex., 久米町 (現 津山市), 31.VII.1960.
 1ex., 岡山市高松, 6.X.1979.
Scutelleridae キンカメムシ科
26. *Poecilocoris lewisi* DISTANT アカスジキンカメムシ
 1ex., 久米町 (現 津山市), 3.VII.1968.
Didridae ノコギリカメムシ科
27. *Megymenum gracilicorne* DALLAS ノコギリカメムシ
 1ex., 津山市津川山, 5.VII.1970.
Pentatomidae カメムシ科
28. *Graphosoma rubrolineatum* (WESTWOOD) アカスジカメムシ
 1ex., 鏡野町越畑, 13.VIII.1963.
 1ex., 上斎原村 (現 鏡野町), 13.IX.1970.
 1ex., 津山市, 4.VI.1978.
29. *Picromerus lewisi* SCOTT クチブトカメムシ
 1ex., 勝田町立木 (現 美作市), 13.V.1962.
 1ex., 阿波村 (現 津山市), 2.VI.1963.
30. *Zicrona caerulea* (LINNAEUS) ルリクチブトカメムシ
 1ex., 久米町 (現 津山市), 25.VII.1960年代 (採集年不明).
31. *Aelia fieberi* SCOTT ウズラカメムシ
 1ex., 津山, 20.VI.1979.
32. *Aenalia lewisi* (SCOTT) シロヘリカメムシ
 1ex., 鏡野町越畑, 31.V.1964.
 1ex., 阿波村 (現 津山市), 14.V.1967.
33. *Carbula humerigera* (UHLER) トゲカメムシ
 1ex., 鏡野町越畑, 13.VIII.1963.
 1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 13.VIII.1963.
 2exs., 鏡野町泉山, 8.VIII.1967.
34. *Dolycoris baccalum* (LINNAEUS) ブチヒゲカメムシ
 1ex., 津山市, 5.X.1960年代 (採集年不明).
 2exs., 津山市, 29.IV.1967.
 1ex., 津山市林田, 30.VII.2003.
35. *Eurydema rugosa* MOTSCHULSKY ナガメ
 2exs., 津山市, 29.IV.1967.
36. *Eysarcoris guttiger* (THUNBERG) マルシラホシカメムシ
 1ex., 加茂町倉見 (現 津山市), 5.VI.1966.
 1ex., 鏡野町泉山, 16.VI.1967.
37. *Eysarcoris ventralis* (WESTWOOD) シラホシカメムシ
 1ex., 津山市, 27.VIII.1960.
38. *Halyomorpha picus* (FABRICIUS) クサギカメムシ
 1ex., 津山市黒沢山, 22.VII.1966.
 1ex., 津山市, 10.IV.1980.
39. *Hermolaus amurensis* HORVATH ミヤマカメムシ
 1ex., 高梁市臥牛山, 30.IV.1969.
40. *Homalagonia obtusa* (WALKER) ヨツボシカメムシ
 1ex., 奥津町三子原 (現 鏡野町), 12.VI.1966.
41. *Lanynotomus elongatus* (DALLAS) イネカメムシ

1ex., 津山市, 13.VIII.1962.



エゾツノカメムシ

1ex., 上斎原村人形峠 (現 鏡野町), 6.V.1962.

53. *Acanthosoma giganteum* (MATSUMURA)

オオツノカメムシ

1ex., 湯原町霞ヶ丘森林公園 (現 真庭市),
11.VIII.1980.

54. *Acanthosoma labiduroides* JAKOVLEV

ハサミツノカメムシ

1ex., 東栗倉村後山 (現 美作市), 29.VII.1962.

55. *Elasmostethus humeralis* JAKOVLEV

ベニモンツノカメムシ

1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 15.V.1960.

56. *Elasmostethus nubilus* (DALLAS)

アオモンツノカメムシ

1ex., 勝田町立木 (現 美作市), 13.V.1962.

57. *Elasmostethus rotundus* YAMAMOTO (和名なし)

1ex., 勝田町立木 (現 美作市), 13.V.1962.

58. *Elasmucha putoni* SCOTT ヒメツノカメムシ

2exs., 阿波村 (現 津山市), 5.VI.1960.

1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 5.V.1962.

59. *Elasmucha signoreti* SCOTT

セグロヒメツノカメムシ

1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 31.V.1964.

60. *Sastragala esakii* HASEGAWA

エサキモンキツノカメムシ

1ex., 加茂町倉見 (現 津山市), 23.VI.1968.

1ex., 津山市, 20.VIII.1983.

【岡山県外産】

Cimicomorpha トコジラミ下目

Nabidae マキバサシガメ科

61. *Gorpis brevilineatus* (SCOTT)

アカマキバサシガメ

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
1.VI.1980.

Reduviidae サシガメ科

62. *Cydnocoris russatus* STAL アカサシガメ

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
1.VI.1980.

63. *Rhynocoris ornatus* (UHLER) アカヘリサシガメ

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
22.VII.1980.

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
28.VII.1979.

64. *Sphedanolestes impressicollis* (STAL) シマサシガメ

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),

42. *Lelia decempunctata* (MOTSCHULSKY)

トホシカメムシ

1ex., 津山市黒沢山, 3.VII.1971.

43. *Menida scotti* PUTON スコットカメムシ

1ex., 鏡野町花知ヶ仙, 5.V.1962.

1ex., 奈義町那岐山, 14.VI.1968.

44. *Menida violacea* MOTSCHULSKY ツマジロカメムシ

1ex., 鏡野町井村, 5.V.1960.

1ex., 奥津町花知ヶ仙 (現 鏡野町), 12.VI.1966.

45. *Nezara antennata* SCOTT アオクサカメムシ

1ex., 津山市, 28.VII.1962.

1ex., 上斎原村 (現 鏡野町), 29.VII.1970.

46. *Palomena angulosa* (MOTSCHULSKY)

エゾアオカメムシ

1ex., 奥津町泉源 (現 鏡野町), 28.VI.1964.

1ex., 鏡野町井村, 5.V.1960.

1ex., 勝田町立木 (現 美作市), 13.V.1962.

1ex., 鏡野町泉山, 5.V.1968.

1ex., 津山市津川山, 5.VII.1970.

47. *Piezodorus hybneri* (GMELIN) イチモンジカメムシ

1ex., 岡山市高松, 6.X.1979.

48. *Plautia stali* SCOTT チャバネアオカメムシ

1ex., 鏡野町越畑, 15.V.1960.

49. *Plautia splendens* DISTANT

ヒメチャバネアオカメムシ

1ex., 岡山市高松, 5.V.1976.

1ex., 岡山市高松, 6.X.1979.

Phyllocephalidae エビイロカメムシ科

50. *Gonopsis affinis* (UHLER) エビイロカメムシ

1ex., 津山市, 19.IX.1965.

Acanthosomatidae ツノカメムシ科

51. *Acanthosoma denticauda* JAKOVLEV

セアカツノカメムシ

2exs., 津山市黒沢山, 3.VII.1971.

1ex., "Fukumoto", 4.V.1983.

52. *Acanthosoma expansum* HORVATH

10.VIII.1975.

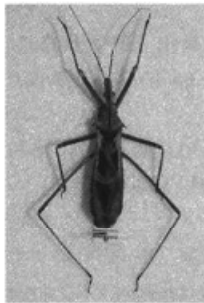
1ex., 鳥取県大山, 30.VI.1962

65. *Reduvius humeralis* (SCOTT) クビアカサシガメ

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
2.VII.1981.

66. *Canthesancus lurco* STAL クロボシサシガメ

1ex., 沖縄県宮古島市砂川, 22.IV.1982.



67. *Peirates turpis* WALKER クロモンサシガメ

1ex., 鳥取県大山, 31.VI.1962.

Pentatomorpha カメムシ下目

Lygaeidae ナガカメムシ科

68. *Graptostethus servus* (FABRICIUS)

ヒメマダラナガカメムシ

1ex., 沖縄県石垣市於茂登岳, 16.IV.1982.

69. *Spilostethus hospes* (FABRICIUS)

コマダラナガカメムシ

1ex., 鹿児島県佐多町 (現 南大隅町), 30.V.1981.

70. *Prosomoeus brunneus* SCOTT

チャイロホソナガカメムシ

1ex., 鳥取県大山, 1.VII.1962.

Pyrhocoridae ホシカメムシ科

71. *Physopelta cincticollis* STAL ヒメホシカメムシ

1ex., 鳥取県大山, 30.VI.1962.

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
12.VII.1980.

72. *Dysdercus cingulatus* (FABRICIUS) アカホシカメムシ

1ex., 沖縄県八重山郡与那国町, 3.IV.1981.

2exs., 沖縄県石垣市, 4.V.1980.

Coreidae ヘリカメムシ科

73. *Anoplocnemis castanea* (DALLAS)

アシプトヘリカメムシ

1ex., 沖縄県石垣市川平, 1.IV.1981.

74. *Molipteryx fuliginosa* (UHLER) オオヘリカメムシ

1ex., 鹿児島県佐多町 (現 南大隅町), 29.V.1981.

1ex., 徳島県剣山, 25.VII.1972.

1ex., 鳥取県大山, 1.VII.1962.

75. *Homoeocerus dilatatus* HORVATH

ハラビロヘリカメムシ

1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
11.V.1980.

76. *Leptoglossus australis* (FABRICIUS)

アシビロヘリカメムシ

1ex., 鹿児島県名瀬市 (現 奄美大島市),
29.VI.1983.

Alydidae ホソヘリカメムシ科

77. *Paraplesius unicolor* SCOTT ヒメクモヘリカメムシ

1ex., 鳥取県大山, 1.VII.1962.

Rhopalidae ヒメヘリカメムシ科

78. *Leptocoris augur* (FABRICIUS) アカヘリカメムシ

1ex., 沖縄県宮古島市水納島, 22.V.2002.

Urostylidae クヌギカメムシ科

79. *Urochela quadrinotata* (REUTER) ヨツモンカメムシ

2exs., 鳥取県大山, 13.VI.1970.

80. *Urostylis annulicornis* SCOTT ヘラクヌギカメムシ

2exs., 鳥取県大山, 29.VI.1980.

81. *Urostylis stricicornis* SCOTT サジクヌギカメムシ

1ex., 徳島県剣山, 27.VII.1973.

Scutelleridae キンカメムシ科

82. *Calliphata nobilis* (LINNAEUS)

ナナホシキンカメムシ

2exs., 沖縄県平良市 (現 宮古島市), 12.IV.1982.

1ex., 沖縄県石垣市川平, 1.IV.1981.

83. *Cantao ocellatus* (THUNBERG) アカギカメムシ

1ex., 沖縄県西銘岳, 15.VI.1982.

2exs., 鹿児島県奄美大島, 1.VII.1979.

1ex., 鹿児島県奄美大島八津野, 30.III.1982.

84. *Eucorysses grandis* (THUNBERG) オオキンカメムシ

1ex., 鳥取県大山, 26.VII.1980.

85. *Phyllia miyakonus* (MATSUMURA)

ミヤコキンカメムシ

2exs., 沖縄県八重山郡与那国町, 4.IV.1981.

86. *Poecilocoris lewisi* DISTANT

アカスジキンカメムシ

2exs., 鳥取県大山, 10.VII.1966.

87. *Eurygaster testudinaria* (GEOFFROY)

チャイロカメムシ

1ex., 鳥取県那岐山, 14.VI.1968.

Pentatomidae カメムシ科

88. *Graphosoma rubrolineatum* (WESTWOOD)

アカスジカメムシ

1ex., 北海道網走市斜里郡斜里町ウトロ,
22.VII.1983.

89. *Eocanthecona kyushuensis* ESAKI et ISHIHARA

- キウシュウクチプトカメムシ
 2exs., 鹿児島県宇検村湯湾, 17.VI.1983.
 1ex., 鹿児島県上屋久町口永良部島古岳,
 15.VI.2001.
 1ex., 鹿児島県奄美大島八津野, 30.III.1982.
90. *Picromerus lewisi* SCOTT クチプトカメムシ
 2exs., 鳥取県大山, 11.VI.1968.
91. *Aenalia lewisi* (SCOTT) シロヘリカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 2.VI.1968.
92. *Alcimocoris japonensis* (SCOTT) ウシカメムシ
 1ex., 沖縄県石垣市, 4.V.1980.
 1ex., 鹿児島県上屋久町口永良部島古岳,
 15.VI.2001.
93. *Glaucias subpunctatus* WALKER ツヤアオカメムシ
 2exs., 沖縄県石垣市於茂登岳, 1.VI.1982.
94. *Lelia decempunctata* (MOTSCHULSKY)
 トホシカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 10.VII.1966.
 1ex., 鳥取県大山, 30.VI.1969.
95. *Menida scotti* PUTON スコットカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 29.VI.1980.
96. *Menida violacea* MOTSCHULSKY ツマジロカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 1.VII.1962.
97. *Palomena angulosa* (MOTSCHULSKY)
 エゾアオカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 26.VI.1966.
98. *Pentatoma japonica* (DISTANT) ツノアオカメムシ
 2exs., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
 28.VII.1979.
- Phyllocephalidae エビイロカメムシ科**
99. *Gonopsis affinis* (UHLER) エビイロカメムシ
 2exs., 沖縄県石垣市, 4.V.1980.
- Acanthosomatidae ツノカメムシ科**
100. *Acanthosoma denticauda* JAKOVLEV
 セアカツノカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 11.VI.1968.
 1ex., 鳥取県大山, 29.VI.1980.
 1ex., 鳥取県大山, 10.VI.1967.
 1ex., 鳥取県八頭郡佐治村高鉢山 (現 鳥取市),
 21.VII.1981.
101. *Acanthosoma forficula* JAKOVLEV
 ヒメハサミツノカメムシ
 2exs., 鳥取県大山, 30.VI.1962.
 1ex., 鳥取県大山, 11.VI.1968.
102. *Acanthosoma giganteum* (MATSUMURA)
 オオツノカメムシ

- 1ex., 鳥取県佐治村 (現 鳥取市), 2.VII.1980.
103. *Acanthosoma labiduroides* JAKOVLEV
 ハサミツノカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 11.VI.1968.
 1ex., 鳥取県大山, 26.VI.1966.
104. *Elasmucha doralis* (JAKOVLEV)
 アカヒメツノカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 1.VII.1962.
105. *Elasmucha signoreti* SCOTT
 セグロヒメツノカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 29.VI.1980.
106. *Sastragala esakii* HASEGAWA
 エサキモンキツノカメムシ
 1ex., 鳥取県大山, 11.VI.1968.
 2exs., 鳥取県大山, 1.VII.1962.

Ⅲ. まとめ

本報告では、岡山県産13科60種、岡山県外産12科46種、併せて14科87種のカメムシ類（異翅亜目 Heteroptera）を記録した。これらのうち特筆すべき種として、分布上の新知見となったクロボシサシガメとイネカメムシの2種を挙げる。

クロボシサシガメは、既知の産地は石垣島、西表島、与那国島の各島で（屋宮祖ほか、2002）、今回記録した宮古島からは初記録となる。

イネカメムシは、岡山県初記録であるが、実に45年も前の記録であることから、絶滅のおそれが強く懸念される種である。本種は、その名が示すとおりイネの害虫として知られ、以前は比較的普通に見られたという。しかし、営農形態の変化からか、近年記録される機会が激減し、栃木県や埼玉県のようにレッドデータブックに掲載される例もある。今後、本記録をもとに保全への方向性が示されることを切に望む。

Ⅳ. 謝辞

本報告をまとめるにあたり、貴重な標本を寄贈され公表の機会を与えてくださった竹内幸夫氏、収蔵標本の提供ならびに発表を進めてくださった倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士、クロボシサシガメの同定と分布情報を教えてくださった東京農業大学の石川忠博士に厚く御礼申し上げる。

Ⅴ. 引用文献

- 林正美, 2002. Heteroptera カメムシ目 (異翅目), pp.125-149. In: 東 清二 (監修), 増補改訂 琉球列島産昆虫目録. 沖縄生物学会, 沖縄.

おとしぶみ

岡山県におけるカワラバッタの記録について

近藤光宏

カワラバッタは岡山県にかつては分布していたが、標本はもとより、報文すら見当たらず、生息環境である河川敷の変化などによって、減少し、一時は絶滅したのではないかと思われていた。

ところが、2000年に観察会に参加していた高梁市立高倉小学校の児童によって、高梁川中流域の河川敷から、幸運にも発見(写真)され、岡山県初記録としてマスコミ等(山陽新聞2000年10月5日付け)で報告された。



保護色をしたカワラバッタ

筆者等は、その後2005年までに毎年同じ河川敷から生息を確認することができたので、ここにデータをそえて報告する。

<データ>

Eusphingonotus japonicus (SAUSSURE) カワラバッタ
高梁市高倉町飯部高梁川河川敷

- 1♂2♀, Oct. 3, 2000, 信原美章(5年).
- 1♂, Oct. 3, 2000, 白神実(校長).
- 1♀, Oct. 3, 2000, 藤井しずか(4年).
- 1♀, Oct. 3, 2000, 渡辺孫史(5年).
- 1ex., Oct. 26, 2000, 池上憲士郎(2年).
- 2♂, Oct. 3, 2001, 他多数個体目撃(児童・筆者).
- 1♂1♀, Oct. 9, 2002, 他多数個体目撃(児童・筆者).
- 1♂1♀, Oct. 2, 2003, 他多数個体目撃(児童・筆者).
- 数個体目撃, Sep. 上旬, 2004, 河田精一(校長).
校庭にいた。飛びたった時羽が青かった。礫層でなくねんど質の所にいた。
- 多数個体目撃, Oct. 12, 2004, (児童・筆者).
- 2♀, Oct. 13, 2005, 三村菜摘(2年)・西村崇宏

(5年)・安藤洋行(5年).

参考文献

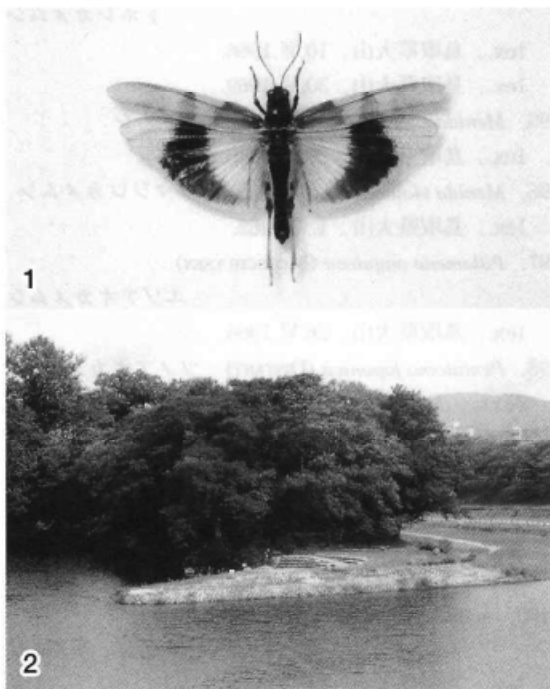
岡山県, 2003, 岡山県版レッドデータブック, p.115.
(〒710-0046 倉敷市中央2-16-14)

絶滅危惧種のカワラバッタを採集

澤田博仁

先般、2007年8月26日(日)に倉敷市立自然史博物館で行われた「名前を調べる会」で、筆者の採集標本が絶滅危惧種に指定されているカワラバッタであることが判明したので、報告しておく。

1♂, 岡山市後楽園, 9.X.2003, 筆者採集・保管(写真1).



4年ほど前に後楽園の突端の桃太郎のブロンズ像が建っている付近の川原(写真2)で何気なく網の中に納めたもので、展翅してそのままドイツ箱の中に入れていたものを、もしやと思い「名前を調べる会」に持ち込んだものである。

末筆ではあるが、同定に際し、いろいろご教示下さった近藤光宏先生に感謝申し上げる。

(〒701-1151 岡山市津高台1丁目2009-3)

高梁市高倉町飯部の昆虫

近藤光宏*

高倉小学校では1999年以来毎年秋季に1回昆虫観察会が開かれ、児童の皆さんと共に野外調査の機会が得られた。観察された昆虫の大半は県内に普通に分布するものでしめられているが、これまで県中部における分布調査が県南・県北部にくらべて少ないことを思えば県下の昆虫相解明に役立つものと思う。また、岡山県版レッドデータブックに掲げられているカワラバッタ（岡山県絶滅危惧種）やハマスズ（準絶滅危惧種）などの生息が確認できたことは注目に値する。

調査地は、高梁市高倉町飯部である。

以下に過去8回分のデータをまとめて報告する。

凡例

1. 「目」・「種」の配列は、岡山県昆虫目録（2003）に順じた。
2. 種については、和名、学名、採集年月日、採集または目撃者名の順に記した。
3. 種の同定は、一部のコウチュウを除き、近藤光宏が担当した。
4. バッタ目の一部やセミについては、鳴き声により確認したものもある。
5. 目撃とあるのは、児童または筆者による。
6. 確認とあるのは、児童または筆者による。
7. 採集者名のないものは、児童または筆者が採集。

カゲロウ目

チラカゲロウ *Isonychia japonica* (ÜLMER)

2exs. (亜成虫), Oct. 2, 2003.

トンボ目

アオイトトンボ *Lestes sponsa* (HANSEMANN)

1ex.目撃, Sep. 28, 1999.

ハグロトンボ *Copteryx atrata atrata* SELS

1♂, Oct. 13, 2005.

コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* RIS

1ex.目撃, Sep. 28, 1999.

ナツアカネ *Sympetrum dawrinianum* (SELYS)

1ex., Sep. 28, 1999.

1♂1♀目撃, Oct. 3, 2001.

ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (SELYS)

1ex.目撃, Sep. 28, 1999.

1ex., Oct. 9, 2002, 才田正義 (1年).

バッタ目

ニシキリギリス *Gampsocleis buergeri* (de HAAN)

2♀, Oct. 2, 2003.

クビキリギリス *Euconocephalus varius* (WALKER)

1ex. (茶), Oct. 3, 2000, 佐藤友朗 (6年).

岡山県の北限と思われる。

タイワンクツワムシ *Mecopoda elongate* (LINNAEUS)

1♂, Sep. 28, 1999, 渡辺孫史 (4年).

オナガササキリ

Conocephalus gladius (REDTENBACHER)

1♀, Oct. 3, 2000, 谷宏美 (6年).

1♂1♀目撃, Oct. 3, 2001.

1♀, Oct. 2, 2003.

ササキリ *Conocephalus melaenus* (de HAAN)

1♀, Sep. 28, 1999, 白神実 (校長).

ミドリササキリモドキ *Genus kuzicus* GOROCHOV

1ex., Oct. 3, 2000, 大平みなみ (6年).

セスジツユムシ *Ducetia japonica* (THUNBERG)

1♀, Oct. 3, 2000.

1♂1♀目撃, Oct. 3, 2001.

3♀, Oct. 9, 2002.

1ex., Oct. 2, 2003.

2♀, Oct. 13, 2005.

サトクダマキモドキ

Holochlora japonica Bruner von WATTENWYL

1♀ (死骸), Sep. 28, 1999, 藤井.

1ex., Oct. 3, 2000.

2♀目撃, Oct. 3, 2000.

1♀, Oct. 13, 2005.

1♀ (死骸), Oct. 11, 2006.

ヤマクダマキモドキ

Holochlora longifissa MATSUMURA et SHIRAKI

1♀, Oct. 11, 2006.

セスジツユムシ *Ducetia japonica* (THUNBERG)

2♀, Oct. 9, 2007, 才田正義 (6年)・森平日香留 (2年).

ツユムシ *Phaneroptera fulcata* (PODA)

* 〒710-0046 倉敷市中央2-16-14

- 1♂, Sep. 28, 1999, 藤井.
 1♀, Oct. 3, 2000.
 1♂1♀目撃, Oct. 3, 2001.
 1♀, Oct. 13, 2005.
 1♀目撃, Oct. 11, 2005.
- ハラオカメコオロギ
Loxoblemmus campester MATSUMURA
 1♂目撃, Oct. 3, 2001.
- ミツカドコオロギ *Loxoblemmus doeniti* STEIN
 1♂目撃, Sep. 28, 1999.
 鳴き声確認, Oct. 13, 2005.
- タンボコオロギ (別名イチモンジコオロギ)
Modicogryllus siamensis CHOPARD
 2♂1♀, Oct. 3, 2005.
 1♀, Oct. 9, 2007, 藤井皓大 (2年).
 1♀, Oct. 3, 2000, 藤井しずか (4年).
- クマスズムシ
Sclerogryllus punctatus (BRUNNER VON WATTENWYLY)
 1♀, Oct. 3, 2000 宮永瑛里 (3年).
- エンマコオロギ
Teleogryllus emma (OHMACHI MATSUURA)
 多数個体目撃, Sep. 28, 1999.
 1♂, Oct. 9, 2002.
 1♀, Oct. 11, 2000.
 1♀, Oct. 9, 2007, 森平日香留 (2年).
- ツブレサセコオロギ *Velarifictorus micado* (SAUSSURE)
 1♀ (幼虫), Oct. 13, 2005.
 鳴き声確認, Oct. 11, 2006, 筆者.
 鳴き声確認, Oct. 9, 2007.
- クサヒバリ *Svistella bifasciata* (SHIRAKI)
 鳴き声確認, Oct. 2, 2003.
 鳴き声確認, Oct. 13, 2005.
- ハマスズ *Dianemobius csikii* (BOLIVAR)
 3♂2♀, Oct. 3, 2001, 宮本瑞希 (3年).
 幼虫・成虫目撃, Oct. 9, 2002.
 1♂1♀, Oct. 11, 2006, 西村崇宏 (6年).
 10♀ (内2♀は幼虫), Oct. 9, 2007, 才田正義 (6年)・三村菜摘 (4年)・森平実希 (6年)・才田瑞穂 (4年)・山本智登志 (校長).
- マダラスズ *Dianemobius nigrofasciatus* (MATSUURA)
 1ex., Oct. 3, 2000.
 1ex.目撃, Oct. 9, 2002.
 1♂1♀, Oct. 2, 2003.
 3exs., Oct. 11, 2006.
 1♀, Oct. 9, 2007, 森平実希 (6年).
- アオマツムシ *Trujalia hibinonis* (MATSUURA)
 鳴き声確認, Oct. 2, 2003.
 鳴き声確認, Oct. 13, 2005.
 鳴き声確認, Oct. 11, 2006.
- オンブバッタ *Atractomorpha lata* (MOTSCHULSKY)
 2♀, Oct. 3, 2000, 他多数個体目撃.
 1♀, Oct. 13, 2005.
- ショウリョウバッタ *Acrida cinerea* (THUNBERG)
 1♂目撃, Sep. 28, 1999.
 1♀, Oct. 3, 2000, 他多数個体目撃.
 3♂目撃, Oct. 3, 2001.
 1♂1♀, Oct. 11, 2006.
 2♂, Oct. 9, 2007, 森平莉子 (4年).
- ヒナバッタ
Chorthippus maritimus maritimus (MISTSHENKO)
 1♂3♀目撃, Sep. 28, 1999.
 1♀, Oct. 3, 2000, 小浜守由未 (2年).
 1♂, Oct. 9, 2002, 他2exs.目撃.
 1♂, Oct. 2, 2003.
 3♂, Oct. 13, 2005.
 1ex.目撃, Oct. 11, 2006.
- カワラバッタ *Eusphingonotus japonicus* (SAUSSURE)
 本種については、本誌に別途まとめて発表している(近藤, 2008)ので、そちらを原文献として、ここでのデータは、近藤 (2008) からの引用としておく。
 1♂2♀, Oct. 3, 2000, 信原美章 (5年).
 1♂, Oct. 3, 2000, 白神実 (校長).
 1♀, Oct. 3, 2000, 藤井しずか (4年).
 1♀, Oct. 3, 2000, 渡辺孫史 (5年).
 1ex., Oct. 26, 2000, 池上憲士郎 (2年).
 2♂, Oct. 3, 2001, 他多数個体目撃 (児童・筆者).
 1♂1♀, Oct. 9, 2002, 他多数個体目撃 (児童・筆者).
 1♂1♀, Oct. 2, 2003, 他多数個体目撃 (児童・筆者).
 数個体目撃, Sep. 上旬, 2004, 河田精一 (校長).
 多数個体目撃, Oct. 12, 2004, 児童・筆者.
 2♀, Oct. 13, 2005, 三村菜摘 (2年)・西村崇宏 (5年)・安藤洋行 (5年).
- トノサマバッタ *Locusta migratoria* (LINNÆUS)
 1♀, Oct. 3, 2000, 他多数個体目撃.
 3♀, Oct. 3, 2001, 他多数個体目撃.
 2♂2♀目撃, Oct. 9, 2002.
 1ex., Oct. 2, 2003.
 2♂1♀, Oct. 13, 2005.
 他多数個体, Oct. 11, 2006.
 1♀, Oct. 9, 2007, 森平莉子 (4年).

クルマバッターモドキ *Oedaleus infernalis* SANSSURE

- 1♀目撃, Sep. 28, 1999.
5♂目撃, Oct. 3, 2001.
1♂1♀, Oct. 13, 2005, 他多数個体目撃.
2♂目撃, Oct. 11, 2006.
2♂2♀, Oct. 9, 2007, 三村菜摘 (4年)・藤井皓大 (2年)・森平実希 (6年).

イボバッター *Trilophidia japonica* SAUSSURE

- 1♀目撃, Sep. 28, 1999.

ツチイナゴ *patanga japonica* (BOLIVAR)

- 1♀, Oct. 3, 2000, 他数個体目撃.
2♀, Oct. 3, 2001, 他多数個体目撃.
1♂ (幼虫), Oct. 11, 2006.

ハネナガイナゴ *Oxya japonica* (THUNBERG)

- 1♀, Oct. 3, 2000, 池上憲士郎 (2年), 他数個体目撃.

コバネイナゴ *Oxya yezoensis* SHIRAKI

- 1♀, Oct. 9, 2007, 森平莉子 (4年).

ハラヒシバッター *Tetrix japonica* (BOLIVAR)

- 1ex., Sep. 28, 1999, (クモの巣).
1ex., Oct. 3, 2001.
1♀目撃, Oct. 9, 2002.
1ex., Oct. 11, 2006.

ノミバッター *Xya japonica* (de HAAN)

- 1ex., Oct. 3, 2000, 他多数個体目撃.

ハサミムシ目

オオハサミムシ *Labidura riparia japonica* (de HAAN)

- 2exs., Oct. 2, 2003, 児童.
1ex., Oct. 13, 2005, 筆者採集.
1♂1♀, Oct. 9, 2007, 才田瑞穂 (4年)・森平実希 (6年).

ゴキブリ目

モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica* ASAHINA

- 1ex. (幼虫), Oct. 9, 2007, 山本智登志.

カマキリ目

ヒメカマキリ *Acromantis japonica* WESTWOOD

- 1ex., Oct. 3, 2000, 渡辺孫史 (5年).
1♀, Oct. 2, 2001, 大塚栄子 (教諭), 高倉小学校の校舎の窓.
1♀, Oct. 13, 2005, 児童.

ハラビロカマキリ *Hierodala patellifera* (SERVILLA)

- 1♀, Oct. 3, 2000, 信原美章 (5年).
3♀目撃, Oct. 3, 2001.
1♀目撃, Oct. 9, 2002.
1♀, Oct. 9, 2002.
1♀, Oct. 11, 2006.

コカマキリ *Statilia maculate* (THUNBERG)

- 1♂1♀ (交尾体), Oct. 3, 2000, 他多数個体目撃.
オオカマキリ *Tenodera aridifolia* (STOLL)
1♀目撃, Sep. 28, 1999.
1♀, Oct. 3, 2000, 他多数個体目撃.
1ex., Oct. 2, 2003.
1♀ (死骸), Oct. 13, 2005.

カメムシ目

アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofusca* (MOTSCHULSKY)

- 1♀ (脱殻), Sep. 28, 1999.

ツクツクボウシ *Meimuna opalifera* (WALKER)

- 鳴き声, Sep. 28, 1999.
1♀ (死骸), Oct. 3, 2000, 谷宏美 (6年).

ミンミンゼミ

Oncotympana mavulaticollis (MOTSCHULSKY)

- 鳴き声, Sep. 28, 1999.
1♀ (死骸), Oct. 9, 2002.

シロオビアワフキ *Aphrophora intermedia* UHLER

- 1ex., Oct. 9, 2007, 才田正義 (6年).

モンキアワフキ

Yezophora flavomaculata (MATSUMURA)

- 1ex., Oct. 3, 2001, 宮永・藤井.
3exs., Oct. 9, 2007, 筆者.

ツマグロオオヨコバイ

Bathrogonia ferruginea (FABRICIUS)

- 1ex., Sep. 28, 1999.
1ex., Oct. 3, 2000, 藤井しずか (4年), 他多数個体目撃.
1ex., Oct. 9, 2007, 三村菜摘 (4年).

オオヨコバイ *Cizadella viridis* (LINNAEUS)

- 1ex., Sep. 28, 1999.

ヒメハリカメムシ *Cletus firgonus* (THUNBERG)

- 1ex., Oct. 3, 2000, 谷宏美 (6年).

クモヘリカメムシ *Leptocoris chinensis* (DALLAS)

- 2exs., Oct. 3, 2000.
1ex., Oct. 3, 2001, 池上憲士郎 (3年).

ホソヘリカメムシ *Ritortus vclavatus* (THUNBERG)

- 1ex.目撃, Sep. 28, 1999.

スカシヒメヘリカメムシ

Liorhyssus hyalinus (FABRICIUS)

- 2exs., Oct. 9, 2002, 小浜伽小里 (1年)・近政眞澄 (教諭).

マルカメムシ *Megacopta punctatissima* (MONTHANDON)

- 2exs., Oct. 9, 2007, 筆者.

コウチュウ目

ハンミョウ *Cicindela chinensis japonica* THUNBERG

- 1ex., Oct. 3, 2000, 渡辺孫史 (5年).
スジミズアトキリゴミムシ
Apristus grandis ANDREWES
近藤光宏 (2006)
ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica* (THUNBERG)
1ex., Oct. 9, 2007, 筆者採集.
ウリハムシ *Aulacophora indica* (GMELIN)
1ex., Oct. 3, 2001, 池上憲士郎 (3年).
クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis* MOTSCHULSKY
1ex., Oct. 9, 2007, 筆者採集.
ハエ目
キイロコウカアブ *Ptecticus aurifer* (WALKER)
1ex., Oct. 2, 2003, 河田精一 (校長).
アメリカミズアブ *Hermetia illucens* (LINNAEUS)
1ex., Oct. 9, 2002, 池上憲士郎 (4年) (標本).
イッシキイシアブ *Choeradus issikii* (MATSUMURA)
1ex., Oct. 2, 2003.
ニトベハラボソツリアブ *Systropus nitobei* MATSUMURA
1♂1♀ (交尾体), Sep. 28, 1999, 光畑有香里 (5年).
ホソヒラタアブ *Episyrphus balteatus* (de GEER)
1♂, Oct. 3, 2000.
ツマグロコシボソハナアブ *Allobaccha apicalis* (LOEW)
1ex., Oct. 3, 2000, 光畑有香里 (6年).
ハナアブ *Eristalis tenax* (LINNAEUS)
1ex., Oct. 3, 2001.
ハイジマハナアブ *Eumerus strigatus* (FALLEN)
2exs., Oct. 2, 2003.
オオハナアブ *Phyomyia zonata* (FABRICIUS)
1ex.目撃, Oct. 3, 2001.
1♂, Oct. 11, 2006.
ツマグロキンバエ *Stomorhina obsoleta* (WIEDEMANN)
1ex.目撃, Oct. 3, 2001.
チョウ目
ナミアゲハ *Papilio xuthus* (LINNAEUS)
1ex., Oct. 2, 2003.
ナガサキアゲハ *Papilio macilentus* JANSON
1♀, Sep. 28, 1999.
キチョウ *Eurema bhecabeh cabeh* (LINNAEUS)
多数個体, Sep. 28, 1999.
1ex., Oct. 3, 2000.
1ex., Oct. 2, 2003.
3exs., Oct. 13, 2005.
多数個体, Oct. 11, 2006.
多数個体目撃, Oct. 9, 2007.
ツマグロキチョウ *Eurema laeta betheseba* (JANSON)
1ex., Oct. 2, 2003, 河田精一 (校長).
1ex., Oct. 13, 2005.
モンキチョウ *Colias erate poliography* MOTSCHULSKY
1ex., Sep. 28, 1999.
モンシロチョウ *Artogeia rapae crucivora* (BOISDUVAL)
1ex.目撃, Sep. 28, 1999.
1ex., Oct. 3, 2000, 渡辺孫史 (5年).
1ex., Oct. 13, 2005.
1ex., Oct. 11, 2006.
1ex., Oct. 9, 2007, 筆者目撃
スジグロシロチョウ *Artogeia melete* (MENETRIES)
1ex.目撃, Sep. 28, 1999.
1ex., Oct. 3, 2000, 池上憲士郎 (2年).
1ex., Oct. 13, 2005.
1ex., Oct. 9, 2007, 才田正義 (6年).
ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* NICEVILLE
3exs.目撃, Sep. 28, 1999.
1♂目撃, Oct. 3, 2001.
1♂, Oct. 13, 2005.
1ex., Oct. 11, 2006.
ベニシジミ *Lycena phlaeas daimio* (MATSUMURA)
1ex.目撃, Sep. 28, 1999.
1ex., Oct. 13, 2005.
1ex., Oct. 11, 2006.
ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha argia* (MENETRIES)
多数個体目撃, Sep. 28, 1999.
多数個体目撃, Oct. 3, 2001.
1♂目撃, Oct. 9, 2002.
1ex., Oct. 13, 2005.
ツバメシジミ *Everes argiades argiades* (PALLAS)
1ex., Oct. 13, 2005.
ルリシジミ
Celastrina argiolus ladonides (de l'ORZA)
1ex., Oct. 3, 2000.
テングチョウ *Ldeythea celtis celtoides* FRUHSTORFER
1ex.目撃, Oct. 9, 2002.
1ex., Oct. 13, 2005.
アサギマダラ *Parantica nipponica* (MOORE)
1ex.目撃, Oct. 11, 2006, 児童.
クロコノマチョウ
Melanitis phedima oitensis MATSUMURA
1ex.目撃, Oct. 3, 2000, 筆者.
チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* EVANS
1ex., Oct. 2, 2003.
ウスバツバメ *Elcysma westwoodii* (VOLLENHOVEN)
3exs., Oct. 3, 2001.

1ex., Oct. 9, 2002, 宮本瑞希 (4年) (標本).

ヒトツメカギバ *Auzata superba* (BUTLER)

1ex., Oct. 3, 2003.

ハチ目

セグロカブラハバチ *Athalia infumata* (MARLATT)

1♀, Oct. 3, 2000.

ニホンカブラハバチ *Athalia japonica* (KLUG)

1ex., Sep. 28, 1999.

コンボウヤセバチ *Gasteruption japonicum* CAMERON

1♀, Sep. 28, 1999.

モンオナガバチ *Megartyssa praecellens* (TOSQUINET)

1♀, Oct. 3, 2000, 光畑有香里 (6年).

マツムラベッコウコマユバチ

Cremnops atricornis (SMITH)

1♀, Sep. 28, 1999, 宮永正基 (5年).

オオモンクロベッコウ *Anoplius samariensis* (PALLAS)

1ex., Oct. 3, 2000, 宮永正基 (6年).

1ex., Oct. 2, 2003.

1ex., Oct. 11, 2006.

オオフトオビドロバチ本土亜種

Anterhynchium flavomarginatum micado (KIRSCH)

1ex., Oct. 3, 2001.

ミカドトックリバチ *Eumenes micado* CAMERON

1♀, Sep. 28, 1999.

スズバチ *Oreumenes decoratus* (SMITH)

1♀, Sep. 28, 1999.

キボシアシナガバチ *Polistes mandarinus* SAUSSURE

1ex., Oct. 3, 2001.

コガタスズメバチ本土亜種

Vespa analis insularis DALLA TORRE

営巣, Sep. 28, 1999, 藤井元PTA会長宅.

オオスズメバチ

Vespa mandarinia japonica RADOSZKOWSKI

1ex., Oct. 3, 2001.

キイロスズメバチ

Vespa simillima xanthoptera CAMERON

1ex.目撃, Oct. 3, 2000.

2exs., Oct. 13, 2005, (アメリカセンダングサの花へ飛来).

クロスズメバチ *Vespula flaviceps lewisii* (CAMERON)

1ex., Oct. 3, 2001, 池上憲士郎 (3年).

アカガネコハナバチ *Halictus aerarius* SMITH

1ex., Oct. 2, 2003.

ハラアカハキリバチヤドリ *Euasps basalisis* (RITSEMA)

1ex., Oct. 3, 2000, 渡辺孫史 (5年).

クマバチ *Xylocopa appendiculata circumvolans* SMITH

1ex.目撃, Sep. 28, 1999.

ニホンミツバチ *Apis cerana* FABRICUS

1ex.目撃, Oct. 3, 2000.

1ex.目撃, Oct. 13, 2005.

終わりに

本稿を閉じるに当たり、末筆ですが、何かと大変お世話になった次の方々には厚くお礼申し上げます。

自然体験学習に格別ご理解いただいている高梁市立高倉小学校山本智登志校長をはじめ職員の先生方、同校児童の皆さん。

一部コウチュウの同定を賜った岡山県野生生物調査検討委員青野孝昭様

参考文献・引用文献

岡山県, 2003. 岡山県版レッドデータブック, P. 114-115.

近藤光宏, 2003. ハマスズの記録 (続編), すずむし, (137): 56.

日本直翅類学会, 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑, 北海道大学出版会.

近藤光宏, 2006. スジミズアトキリゴミムシについて, すずむし, (141): 27.

近藤光宏, 2008. 岡山県におけるカワラバッタの記録について, すずむし, (143): 22.

おとしがみ

岡山県北部におけるカツラネクイハムシの記録

瀬島翔馬

筆者は岡山県北部でカツラネクイハムシ *Donacia (Donaciomima) katurai* KIMOTO, 1981 を採集しているので報告する。本種は、これまで岡山県内では、岡山市および阿哲郡哲西町 (現新見市) の吉備高原部の湿地から記録があったが、中国山地の湿地からは未記録であった。

報告に先立ち、本報を校閲してくださった愛媛大学の酒井雅博博士、原稿作成のアドバイスをいただいた倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士、本種についていくつかご教示いただき、同定の確認をしていただいた愛媛大学の末長晴輝氏にお礼申し上げます。

<データ>

6♂3♀, 真庭市蒜山吉田, 2.VI.2007, 筆者採集・保管。林 (2004) では早に青色の個体がいると解説されているが、今回当地で得られた早は3個体とも銅色であ

る。当地ではキヌツヤミズクサハムシ *Plateumaris sericea* (LINNAEUS, 1761) も多数見られたが、本種が採集できたのは湿地の中でもキヌツヤミズクサハムシの少ない場所であり、やや住み分けているような印象を持った。また、キヌツヤミズクサハムシに比べて個体数はかなり少なかった。岡山県北部の湿地は、比較的調査されているにもかかわらずこれまで本種は発見されていなかったことから、岡山県北部においても分布は限局されるものと考えられる。

引用文献

林 成多, 2004. 総説・日本のネクイハムシ亜科, ホシザキグリーン財団研究報告, 出雲, (7): 29-126.
岡山県編, 2003. 岡山県野生生物目録, 397pp. 岡山県.
山地 治, 1997. 岡山県産昆虫目録 鞘翅 (甲虫) 目, 534pp. ウエスコ, 岡山.
(〒790-0863 愛媛県松山市此花町6-20 フラワーコーポ此ノ花510)

岡山県における *Microchaetes* 属
マルトゲムシの一種の記録

吉田貴大*・末長晴輝**

岡山県下よりマルトゲムシ科の一種 *Microchaetes* sp. を採集したのでここに報告する。
1ex., 瀬戸内市牛窓町牛窓青島, 2.VIII.2004, 吉田採集・保管 (写真).



採集地の青島は瀬戸内海に浮かぶ無人島で、関西学院のキャンプ施設がある。吉田が現地でのキャンプに参加した際に、日中に腐りかけた木製ベンチ上を歩行中の本種を採集したものである。

本種はオーストラリア及びタスマニアからの移入種と考えられている (末長・滝沢, 2004)。岡山県下では他に末長・滝沢 (2004) での倉敷市連島町西ノ浦と山地 (2005) での岡山市玉柏地蔵川河口からの記録がある。

末筆ながら、本種を同定するにあたって助言を頂き、文章の校正にもご協力頂いた沢田佳久氏、本種の確認と撮影をご協力頂いた山地治氏に深く感謝申し上げます。

参考文献

末長晴輝・滝沢春雄, 2004. *Microchaetes* 属のマルトゲムシを国内で記録, 月刊むし (396): 44. 東京.
山地治, 2005. 岡山県から採集した甲虫類の記録. すずむし, (140): 79-84. 倉敷.

(* 〒669-1545 三田市狭間が丘3-20-14)
(** 〒790-0856 松山市南町1丁目1-5
メゾン・ド・ミナミ1208号室)

岡山県におけるクチキコオロギの追加記録

末長晴輝

筆者は、岡山県内でクチキコオロギ *Eulandrevus ivani* GOROCHOV を採集したので記録する。

1♀, 岡山市祇園龍ノ口山, 29.XII.2006, 末長晴輝採集・保管 (写真).



コナラの立ち枯れの樹皮下にいたものを採集した。本種の岡山県における記録は高橋 (2005) の備前市三石と難波 (2006) の岡山市宍甘があり、本報で3例目となる。

末筆ながら、本報の校閲をしていただいた倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士に厚くお礼申し上げます。

引用文献

難波稔明, 2006. クチキコオロギと出会った, しぜんしくらしき, (57): 7.
高橋元, 2005. クチキコオロギの岡山県からの記録, 月刊むし, (409): 45. 東京.

(〒790-0856 松山市南町1丁目1-5
メゾン・ド・ミナミ1208号室)

岡山県から採集した半翅目

山 地 治

岡山県の半翅目昆虫は近年になって野崎氏などによりかなり解明されてきている。

今回、筆者は県内から記録の少ないと思われる若干の種類について報告する。岡山県の半翅目相解明に少しでも貢献出来れば幸いである。

貴重な標本を頂いた松尾由美子氏、中野一成氏、ヒラタカメムシを同定して頂いた長島聖大氏に感謝申し上げます。

若干の種には標本写真を添付しているが、写真の番号は学名の前に付けた番号に対応している。

1. *Alebrasca actinidiae* M.HAYASHI et OKADA

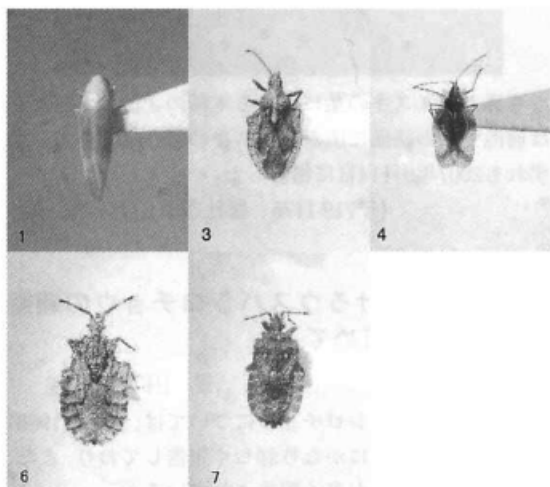
キウイヒメヨコバイ

1♂, 岡山市新保, 11. X. 2007, 松尾氏採集.

1♂, 岡山市矢坂西町, 14. X. 2007, 山地採集.

新保の個体はクモの巣に架かっていたものである。

その特徴的な色彩からキウイヒメヨコバイの♂と同定出来たのでキウイの栽培地を探したところ、矢坂西町で栽培されたキウイの葉裏からも採集出来たが、採集したのは一個体だけで多いものではなかった。県内初記録と思われる。



2. *Tingis matsumurai* TAKEYA マツムラゲンバイ

1ex., 高梁市備中町磐窟溪, 24. IX. 2006, 山地採集.

1ex., 総社市下倉, 29. III. 2007, 中野氏採集.

3. *Xynotingis hoytona* DRAKE クチナガゲンバイ

1ex., 和气町明神山, 27. IV. 2003, 山地採集.

4. *Uhlerites latius* TAKEYA クルミゲンバイ

1ex., 岡山市牟佐, 23. VII. 2003, 山地採集.

オニグルミの枝先のピーティングで採集した。県内初記録と思われる。

5. *Rhynocoris ornatus* (UHLER) アカヘリサシガメ

1ex., 新見市草間大原, 8. V. 2004, 山地採集.

6. *Aradus esakii* KORMILEV et HEISS

エサキヒラタカメムシ

1ex., 哲多町田淵, 18. V. 2003, 山地採集.

長島氏同定.

7. *Usingerida verrucigera* (BERGROTH)

イボヒラタカメムシ

1ex., 哲多町田淵, 18. V. 2003, 山地採集.

長島氏同定。県内初記録と思われる。

(〒701-1221 岡山市芳賀5116-11)

カブトムシの早い採集記録

奥 島 雄 一

2007年5月28日、総社市清音三因の「ふるさとふれあい広場」でカブトムシ成虫を採集した。時期的に早い記録であるので、以下のようにデータを添えて報告しておく。

カブトムシ

Trypoxylus dichotomus septentrionalis (KONO)

1♀, 総社市清音三因, 28. V. 2007, 奥島雄一採集(写真).



5月に採集されたカブトムシ

樹液の出ているコナラを発見し、根元を少し掘ったところ、本個体が姿を現した。

岡山県南部ではこの時期、まだ多くのカブトムシは幼虫で発見される。野生個体であればかなり早い記録と言える。しかしながら、過去には県内で4月あるいは5月に成虫が採集された例も新聞で報道されており(無記名, 1993; 坪井, 2006), 生育環境によってはこ

のようなことも起こる可能性があると考えられる。また、この時期は飼育下で温度管理されたカブトムシ成虫がペットとして市販され始める時期でもあり、そのような個体が逃げ出した可能性も否定できない。

引用文献

- 無記名, 1993. 「せっかちですねカブトムシくん／例年よりも2ヵ月早く／一大芦高原でござごとー」, 1993年5月3日付山陽新聞。
 坪井克行, 2006. 「夏を待てない! ? /カブトムシ発見／真庭」, 2006年5月3日付山陽新聞。
 (〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

総社市内でキマダラカメムシを採集

脇本 浩

キマダラカメムシは、最近分布域を北へ東へと広げつつある種として注目されている(吉鶴・矢崎, 2005)。

岡山県からはこれまでに、小野(2004)の報告以降、県南部での発見が相次いでいるようである。

筆者は総社市内で本種を採集しているので報告する。

成虫1ex. (写真), 総社市中央, 5.X.2007, 筆者採集, 倉敷昆虫館保管。



当日午後5時半ごろ、自動車で帰宅中、フロントガラスに飛来した本種を採集した。

末筆ながら、発表を勧めていただいた前倉敷市立自然史博物館館長の近藤光宏氏に、また、報告にあたり種々ご教示いただいた倉敷市立自然史博物館学芸員の奥島雄一博士に感謝申し上げます。

引用文献

- 小野 洋, 2004. キマダラカメムシの記録. すずむし, (139): 26.
 近藤光宏, 2007. キマダラカメムシを倉敷で記録. すずむし, (142): 60-61.
 吉鶴靖則・矢崎充彦, 2005. キマダラカメムシを関西地方で確認. 月刊むし, (418): 25.
 (〒719-1175 総社市清音上中島362-2)

ショウリョウバッタモドキの記録

脇本 浩

ショウリョウバッタモドキを総社市宿の前池において目撃しているのので、報告する。

生息地は池の法面に生えているススキの原で、2007年8月30日、同年9月14日と2度訪ねたが、両日とも多数の個体を目撃することができた。

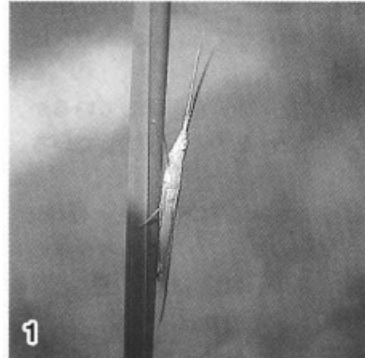


写真1はススキの葉に止まる本種の♂個体、写真2は前池土手の法面に広がるススキの原っぱである。いずれも2007年9月14日に撮影した。

(〒719-1175 総社市清音上中島362-2)

岡山県におけるウスバシロチョウの新産地と南限を求めて

澤田 博 仁

岡山県のウスバシロチョウについては、渡辺(1986)が分布資料とともにかなり詳しく報告しており、また、その後も追加記録が多く報告されている。

筆者も分布の空白を埋める一助になればとの思いで調査した結果、新産地および現時点での南限を記録することができたので、報告しておく。

以下のデータにおいては、採集者は、筆者=HS, 澤田愛子=ASと略記した。なお、標本はすべて筆者が保管している。

井原市芳井町下鴨, 8.V.2007, 1♂, HS, 1♂, AS.
高梁市宇治町本郷, 11.V.2007, 3♂, HS, 1♂, AS.

高梁市川面町, 13.V.2007, 11♂, HS, 6♂, AS.
高梁市成羽町相坂, 13.V.2007, 5♂, HS, 6♂1♀, AS.

高梁市成羽町小泉, 13.V.2007, 1♂, HS, 1♂, AS.

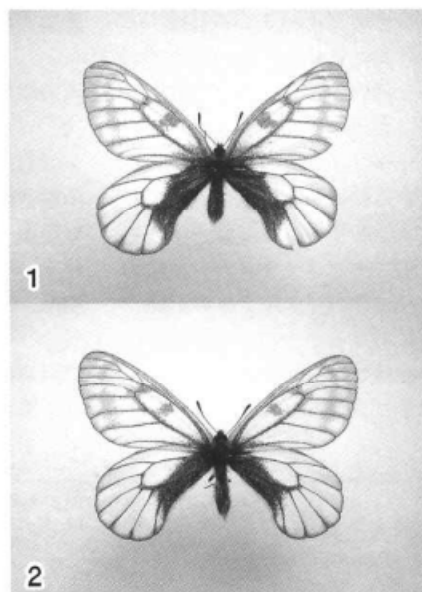


写真1:♂, HS採集 写真2:♀, AS採集
井原市芳井町下鴨の記録(写真1, 2)は, 現時点における南限の記録と思われる。

引用文献

渡辺和夫, 1986. 岡山県のウスバシロチョウ, すずむし, (121): 1-13.
(〒701-1151 岡山市津高台1丁目2009-3)

セスジチビシデムシの記録

藤谷美文

セスジチビシデムシは岐阜県河合村二ツ屋産で記載された種で, 関東から中国地方までの本州及び北部九州から記録されているが記録の少ない種である。

河川敷からの採集例が多いので, 河川の氾濫により上流の地下浅層から流されてきたものか, あるいは河岸の小型哺乳類の巣穴に生息しているのではと考えられていたが, その生態は不明であった。

2006年, 今坂, 大塚らによって本種が河川敷のモグラの巣穴から発見され, その特異な生息環境が明らかとなった。

筆者は2007年の春, 本種の岡山県における生息を調査するため, 旭川河川敷でベイトトラップをモグラの巣穴に仕掛け採集を試みたが, トラップを全てモグラに埋め戻され試みは失敗に終わった。

同年7月, 台風4号の影響で旭川が増水し河川敷に増水ゴミが堆積したので洪水採集を試みたところ本種を採集することができた。個体は左鞘翅が一部欠損しており濁流に流され漂着したものと思われたが, 活発に漂着ごみ上を走り回っていたので遠くから流されてきたものではないと思われた。

本記録は中国地方では山口県の記録に次ぐ2例目の記録である, 山口県の記録も厚東川の河川敷から採集されたもので, モグラの生息している河川敷を調べれば更に多くの生息地を確認できると思われる。

採集データ

セスジチビシデムシ

Nipponemadus torigaii (NAKANE, 1956)

1♀, 岡山市玉柏 旭川河川敷(地藏川との合流点), 18.VI.2007, 筆者採集



なお, 本種は*Catops torigaii*として記載された種であるが, Perreau (2004) により淀川産で記載された*Nipponemadus yanoi*と同種であることがわかり, *C. torigaii*は*Nipponemadus*属に移されたので, 本報告では上記の学名を用いた。


参考文献

藤谷美文・田中醫, 2006. 山口県のチビシデムシ目録, 山口県の自然, (66): 39-44.
Hoshina, H., Perreau, M. & Hayashi, Y., 2006. Taxonomic Report of the Genus *Nipponemadus* (Coleoptera: Leiodidae: Cholevinae). *Ent. Rev. Japan*, 61 (2): 127-130.
今坂正一・大塚健之, 2006. モグラの坑道にいたセスジチビシデムシ, 月刊むし, (428): 24-26.
Perreau, M., 2004. Contribution à la connaissance des Leiodidae (Coleoptera). *Mitt. sch. ent. Ges.* 77: 197-212.

(〒701-1143 岡山市吉宗137)

目 次

岡山県のアシプトゾウムシ亜族の記録…瀬島翔馬 1	旭川水系のグンバイトンボ追加記録 …澤田博仁 16
岡山市旭川礫川原の小調査報告	岡山県におけるカワラバタの記録について
一カワラバタねらいが	……………近藤光宏 22
ルリナガツツハムシの発見に一…青野孝昭 3	絶滅危惧種のカワラバタを採集 ……澤田博仁 22
ナナホシキンカメムシ・鹿児島県・徳之島	岡山県北部における
からの初記録 …安田剛長 6	カツラネクイハムシの記録 ……瀬島翔馬 27
岡山県から採集した甲虫類の記録 ……山地 治 7	岡山県における <i>Microchaetes</i> 属マルトゲムシ
FITによって採集されたチビシデムシ…藤谷美文 13	の一種の記録 ……吉田貴大・末長晴輝 28
倉敷市立自然史博物館収蔵のカメムシ類(1)一竹	岡山県における
内幸夫コレクション一 …野崎達也・野崎陽子 17	クチキコオロギの追加記録 ……末長晴輝 28
高梁市高倉町飯部の昆虫 ……近藤光宏 23	岡山県から採集した半翅目 ……山地 治 29
一おとしぶみ一	カブトムシの早い採集記録 ……奥島雄一 29
ヤエムグラを食べる	総社市内でキマダラカメムシを採集 …脇本 浩 30
ヒメツチハンミョウ ……脇本 浩 12	ショウリョウバッタモドキの記録 ……脇本 浩 30
岡山県におけるヒメハルゼミの新産地	岡山県におけるウスバシロチョウの
……………安田剛長 16	新産地と南限を求めて ……澤田博仁 30
	セスジチビシデムシの記録 ……藤谷美文 31



(医療法人創和会理念)

生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

<http://www.shigei.or.jp>

しげい病院

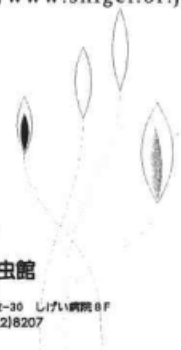
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3455 FAX086(421)1991

重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

重井医学研究所

〒701-0202 岡山市山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115



岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所

〒701-0202 岡山市山田2117 重井医学研究所1F
TEL086(282)4300 FAX086(282)3115

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所

しげい在宅介護ステーション

〒710-0051 倉敷市幸町2-30 しげい病院新南館1F
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒701-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30 しげい病院8F
TEL086(422)8207

編集後記 最近仕事は忙しくて自分の時間をあまり持てません。倉昆の方も「すずむし」編集のみにタッチしている状況で、それさえ十分ではありません。多くの原稿をお寄せいただき、余裕を持った編集を行えるはずですが、なかなか思い通りに行かず、関係者の皆様にはゴメンナサイです。反省!!

ところで、現在「すずむし」では学名(命名者)の特殊記号を省略しておりますが、できれば省略せず正しい表記をとという要望もあるようです。会員の皆さんのご意見はいかがでしょうか。編集者又は事務局までご意見をお寄せください。幹事会で検討していきたくと思っています。(KW)

す ず む し 143号

2008年3月31日発行

発行者 倉敷昆虫同好会(〒710-0051 倉敷市幸町 しげい病院8階 倉敷昆虫館内)
Tel. 086(422)8207(直通) FAX. 086(421)1991
振替口座 01210-2-6927
印刷所 サンコー印刷(株)(総社市真壁871-2)